
会 告 ・ 通 知

————— 平成 25 年 8 月号 会 告 ・ 通 知 目 次 —————

◇CEATEC JAPAN 2013 との連携企画開催のお知らせ	2
◇CEATEC JAPAN 2013 電子情報通信学会 特別シンポジウム	3
◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 8 月 1 日～9 月 3 日）	4
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	21
◇2013 年ソサイエティ大会開催案内	25
◇FIT2013 第 12 回情報科学技術フォーラム開催の御案内	26
◇支部大会	
・平成 25 年度（第 64 回）電気・情報関連学会中国支部連合大会	27
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・北陸支部 平成 25 年度第 1 回学生講演会	28
・関西支部 電気四学会関西支部専門講習会「雷害対策のための風力発電設備接地システム」	28
電子情報通信学会関西支部 学生「見学会・講演会」	28
電気四学会関西支部講演会「農業への ICT（情報通信技術）活用の可能性」	29
・四国支部 四国支部専門講習会「Android 入門講座」	29
・平成 25 年度工学教育連合講演会「工学士に期待される学士力とその養成」	29
・本会が協賛等のもの	30
◇国際会議	31
◇受賞候補者募集等	33
◇求人欄	34
◇お知らせ	
・銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）口座自動引落しの割引特典のお知らせ	37
・御登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい	37
・論文誌の冊子体の廃止について	37
・I-Scover チャレンジ 2013～I-Scover でできる こんなこと、あんなこと～	37
・知的環境とセンサネットワーク（ASN）研究会ロゴ募集について	38
・平成 25 年 8 月号及び 9 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	38
◇論文特集原稿募集	
・回路とシステム小特集（和文論文誌 A）	39
・2013 IEICE ICT フォーラム関連 EU FP7 ICT 研究開発プロジェクト活動における 次世代ブロードバンドアクセス技術とアプリケーション関連技術小特集（英文論文誌 B）	40
・将来の光ネットワークに向けた最新の光エレクトロニクスと通信技術特集（英文論文誌 B, C）	41
・クラウド・サービスコンピューティング特集（和文論文誌 D）	41
♣複製される方へ	24
♣各種証明, 閲覧の手数料について	27
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	36

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます。
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku.html>
(本会ホームページ→各種お知らせ→会告・通知)

※平成 26 年 1 月号から会告・通知欄は、一部内容を除き本会ホームページのみの掲載となります。

—CEATEC JAPAN 2013 との連携企画開催のお知らせ—

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN2013 と、昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN2013 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN2013 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN2013 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN2013 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「未来を切り拓くスマートモビリティを実現する技術と将来ビジョン」及び東京支部主催シンポジウム「SDN と NFV 技術を活用したネットワーク仮想化最先端技術動向」並びに下記 6 件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいますよう、御案内致します。

なお、今年度の CEATEC のテーマは「Smart Innovation—明日の暮らしと社会を創る技術力—」です。

<http://www.ceatec.com/2013/ja/application/about/about02.html>

【開催日】 10月3日(木)～4日(金)

【会場】 幕張メッセ(千葉市)

会場までのアクセスは URL (<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>) を御参照下さい。

【参加費】 無料(ただし、予稿集等有料の場合あり)

【申込方法】 当日会場に直接お越し下さい。なお、CEATEC JAPAN2013 展示会に参加される方は、下記 URL から展示会参加のための事前登録をお願い致します。<http://www.ceatec.com/>(8月初旬掲載予定)

本会が主催する内容は次のとおりです。

I 一般社団法人電子情報通信学会 特別シンポジウム

【開催日】 10月3日(木) 14:00～17:30

【会場】 国際会議場 2F コンベンションホール A

【テーマ】 未来を切り拓くスマートモビリティを実現する技術と将来ビジョン

③知的環境とセンサネットワーク研究専門委員会 (ASN)

【開催日】 10月3日(木) 10:00～13:00

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 知的環境が実現する社会生活基盤
—医療、健康、スポーツとビッグデータ—

II 一般社団法人電子情報通信学会 東京支部主催シンポジウム

【開催日】 10月3日(木) 14:00～18:00

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 SDN と NFV 技術を活用したネットワーク仮想化最先端技術動向

④ ICT スマートグリッド技術時限研究専門委員会

【開催日】 10月4日(金) 10:00～13:00

【会場】 国際会議場 3F 301B号室

【テーマ】 次世代 ICT スマートグリッドによる持続可能社会の実現へ向けて

III 一般社団法人電子情報通信学会 研究会

①コンピュータシステム研究専門委員会 (CPSY)

【開催日】 10月3日(木) 9:00～17:00

【会場】 国際会議場 3F 301B号室

【テーマ】 ユーザを支えるコンピューティング及び一般
—パーソナル機器からスマートシティまで—

⑤人工知能と知識処理研究専門委員会 (AI)

【開催日】 10月4日(金) 14:00～17:00

【会場】 国際会議場 3F 301B号室

【テーマ】 10年後の暮らしをスマートにする +α な価値を創る

②パターン認識・メディア理解研究専門委員会 (PRMU)

【開催日】 10月3日(木)・4日(金) 9:00～17:30

【会場】 国際会議場 3F 302号室

【テーマ】 大規模データとパターン認識・メディア理解/地球をとらえる

⑥電子ディスプレイ研究専門委員会 (EID)

【開催日】 10月4日(金) 13:00～17:00

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 電子ディスプレイシンポジウム

※ CEATEC JAPAN (Combined Exhibition of Advanced Technologies) とは

CEATEC JAPAN は、世界最先端の技術・製品・サービス等が発表され、国内外の業界関係者を始めとする、幅広いユーザから大きな関心をもたれているアジア最大級の IT・エレクトロニクス産業に関連する業界の総合展示会です。

展示会場では、電子部品・デバイスから完成品まで多岐にわたる展示品目を、カテゴリーごとにゾーン分けを行い展開することで、顧客の的確な誘致と効率の良い情報収集を可能にします。展示会場で開催するコンファレンスセッションでは、産業界のトップエグゼクティブや、業界をリードするキーパーソンがビジネスの革新、躍進に役立つメッセージを発信します。

CEATEC JAPAN 2013 は、10月1日(火)～5日(土)の5日間、幕張メッセにて開催されます。

詳細 URL はこちら <http://www.ceatec.com/2013/ja/application/index.html>

—CEATEC JAPAN 2013 電子情報通信学会 特別シンポジウム—

電子情報通信学会では CEATEC JAPAN 2013 のコンファレンスの部において、産官学各界を代表する皆様による特別シンポジウムを開催致します。

近年、屋内外を問わないブロードバンド通信やスマートフォンの普及により、高度な通信サービスの移動性＝モビリティが格段に向上しました。一方、モビリティ最大の媒体である車も、ハイブリッド化や EV 化による環境性能、ICT を活用した安全性能や快適性能の向上で目覚ましい変革を遂げています。効率的で安全・快適なスマートモビリティの実現を目指して、これからの社会・産業の高度化にふさわしい ICT と車のあり方の将来展望を中心に、産官学それぞれの立場から ICT と車の方向性について思いを語って頂きます。

日 時：2013 年 10 月 3 日（木）14：00～17：30

場 所：幕張メッセ国際会議場 2 階 コンベンションホール A

テーマ：「未来を切り拓くスマートモビリティを実現する技術と将来ビジョン」

主 催：一般社団法人電子情報通信学会

プログラム案

(敬称略)

1. 14：00 開会挨拶 電子情報通信学会会長 井上友二

2. 14：05～15：05 基調講演（各 30 分）
 - ①「情報通信第 3 のパラダイムと ITS」 情報通信研究機構理事長 坂内正夫
 - ②「スマートコミュニティ社会とつながるクルマの未来」 トヨタ自動車株式会社常務役員 友山茂樹
- 15：05～15：10 休憩

3. 15：10～17：25 パネル討論 モデレータ：井上友二
 - (1) パネリストによる御講演（各 20 分）
 - ①「スマートモビリティを支える ITS 技術の発展」 住友電気工業株式会社常務取締役 矢野 厚
 - ②「スマートモビリティを実現するパワーエレクトロニクス」 三菱電機株式会社常務執行役 堤 和彦
 - ③「モバイル通信連携によるスマートモビリティ」 (株)NTT ドコモ執行役員 栄藤 稔
 - ④「Twitter とスマートモビリティの融合」(仮題) Twitter Japan パートナーシップ・ディレクター 牧野友衛
 - (2) 討論（55 分）

4. 17：25 閉会挨拶 電子情報通信学会次期会長 酒井善則

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 25 年 8 月 1 日～9 月 3 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
信 号 処 理	29日(木) 30日(金)	13:30~17:50 10:20~14:20	東京農工大学・小金井キャンパス・繊維博 物館	6
信 頼 性 機 構 デ バ イ ス 電 子 部 品 ・ 材 料 光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	29日(木) 30日(金)	9:00~18:35 9:00~17:20	サンリフレ函館	10
応 用 音 響	9日(金)	10:00~17:20	東北大学・電気通信研究所	13
思 考 と 言 語	3日(土) 4日(日)	13:00~17:30 10:30~17:30	関西学院大学・大阪梅田キャンパス	17
8月休会の研究会；回路とシステム，情報理論，超音波，非線形問題，VLSI 設計技術，情報セキュリティ，ワイドバンドシステム，システム数理と応用，技術と社会・倫理，安全性，ITS，スマートインフォメディアシステム，イメージ・メディア・クオリティ				

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
短 距 離 無 線 通 信	19日(月)	10:20~16:50	芝浦工業大学・豊洲キャンパス	6
ア ン テ ナ ・ 伝 播	29日(木) 30日(金)	13:00~17:15 9:30~16:15	横須賀市勤労福祉会館・ヴェルクよこすか	7
モバイルネットワークとアプリケーション	1日(木) 2日(金)	14:30~17:40 9:45~12:30	北海道大学・学術交流会館	前号
フ ォ ト ニ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク	8日(木) 9日(金)	13:00~17:20 9:00~14:30	北海道大学・大学院・情報科学研究科	8
光 通 信 シ ス テ ム 光 フ ァ イ バ 応 用 技 術	22日(木) 23日(金)	14:00~17:30 9:00~15:40	北海道大学・大学院・情報科学研究科	9
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	23日(金)	13:00~16:50	新潟大学・五十嵐キャンパス	14
衛 星 通 信 無 線 通 信 シ ス テ ム	29日(木) 30日(金)	10:30~18:05 9:00~16:30	信州大学・長野（工学）キャンパス	14
8月休会の研究会；環境電磁工学，ネットワークシステム，情報ネットワーク，通信方式，電子通信エネルギー技術，コミュニケーションクオリティ，情報通信マネジメント，インターネットアーキテクチャ，ソフトウェア無線，知的環境とセンサネットワーク				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
電 子 部 品 ・ 材 料	1日(木) 2日(金)	13:30~16:25 9:20~11:35	釧路生涯学習センター・まなぼつと幣舞	8
機 構 デ バ イ ス 電 子 部 品 ・ 材 料 光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ク ス 信 頼 性	29日(木) 30日(金)	9:00~18:35 9:00~17:20	サンリフレ函館	10
シ リ コ ン 材 料 ・ デ バ イ ス 集 積 回 路	1日(木) 2日(金)	9:00~17:10 9:00~17:20	金沢大学・角間キャンパス	15
電 子 デ バ イ ス	8日(木) 9日(金)	14:00~17:35 9:00~11:45	富山大学・工学部	16
今後の予定；マイクロ波・ミリ波フォトニクス (20 ページ)				

8月休会の研究会；磁気記録・情報ストレージ，超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，電磁界理論，マイクロ波，有機エレクトロニクス，エレクトロニクスシミュレーション，マイクロ波・ミリ波フォトニクス

◎情報・システムサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
人工知能と知識処理 サービスコンピューティング	9日(金)	14：20～16：25	国立情報学研究所	6
ソフトウェアインタプライズモデリング	21日(水)	13：00～18：00	宮城大学・仙台駅前 AER サテライトキャンパス	13
パターン認識・メディア理解 情報論的学習理論と機械学習	9月2日(月) 3日(火)	9：30～18：30 9：30～17：15	鳥取大学・鳥取キャンパス	19
コンピューテーション	9月3日(火)	10：10～16：10	鳥取環境大学・本部	20
コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング	1日(木) 2日(金)	15：15～18：30 9：00～20：40	北九州国際会議場	前号
8月休会の研究会；ME とバイオサイバネティックス，ライフインテリジェンスとオフィス情報システム，画像工学，言語理解とコミュニケーション，コンピューテーション，ソフトウェアサイエンス，データ工学，パターン認識・メディア理解，ニューロコンピューティング，知能ソフトウェア工学，音声，教育工学，医用画像，リコンフィギャラブルシステム，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント，クラウドネットワークロボット				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
福祉情報工学	29日(木) 30日(金)	13：00～18：00 9：00～15：40	北海道大学・大学院・情報科学研究科	12
ヒューマンコミュニケーション基礎	23日(金) 24日(土)	10：30～17：30 10：00～18：15	立命館大学・朱雀キャンパス	18
8月休会の研究会；ヒューマン情報処理，マルチメディア・仮想環境基礎				

◇第二種研究会開催案内

情報ネットワーク科学研究会・複雑コミュニケーションサイエンス研究会合同ワークショップ	8月9日(金)，10日(土)	しんしのつ温泉たっぶの湯	21
第6回光通信インフラの飛躍的な高度化に関する研究会	8月22日(木)	北海道大学・大学院・情報科学研究科	21
第15回フォトニックネットワークチュートリアル講演会	8月23日(金)	テレコム先端技術研究支援センター	22
アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(再開第17回)	9月11日(水)	産業技術総合研究所・臨海副都心センター	22

◇第二種研究会発表募集案内

第二回複雑コミュニケーションサイエンス研究会(CCS)日韓合同ワークショップ	10月17日(木)～19日(土)	沖縄県男女共同参画センター	23
第27回多値論理とその応用研究会	1月11日(土)，12日(日)	鹿児島県文化センター	23

★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 松原繁夫 副委員長 菅原俊治・峯 恒憲
幹事 片上大輔・服部宏充

★サービスコンピューティング研究会 (SC)

専門委員長 村上陽平 副委員長 石川冬樹・細野 繁
幹事 田仲正弘・井垣 宏

日時 8月9日(金) 14:20~16:25

会場 国立情報学研究所 12F 会議室 (千代田区一ツ橋 2-1-2. 東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線:神保町, A8 出口. 東京メトロ東西線:竹橋, 1b 出口徒歩 3~5 分. <http://www.nii.ac.jp/about/access/>)

議題 Linked Data, Linked Service, 一般

- Multi-media Recommendation Based On A Dynamically Re-definable Ontology ○Yu-Hsiang Lin (AIZU Univ.)・Rung-Ching Chen (CYUT Univ.)・Qiangfu Zhao (AIZU Univ.)
- Feature extraction for detecting manipulation online review ○Ching-Yun Hsueh (AIZU Univ.)・Long-Sheng Chen (CYUT Univ.)・Qiangfu Zhao (AIZU Univ.)
- 機械部品の RDF データベースを基にしたマッシュアップアプリケーション ○江上周作・清水宏泰・谷口祥太・藤井章博 (法政大)
- NICT サイエンスクラウド: 科学データの RSS を用いたクローリングと Linked Open Data に向けた取り組み ○村田健史・渡邊英伸 (NICT)・鶴川健太郎 (セック)・山本和憲・是津耕司 (NICT)

◎13:00~14:20, 16:30~18:30 に人工知能学会:セマンティック Web とオントロジー研究会が連続して開催されます。

☆AI 研究会

【問合先】

AI 研究会幹事 E-mail: ai-staff@mail.ieice.org

★短距離無線通信研究会 (SRW)

専門委員長 加藤修三 副委員長 加藤正文・原田博司
幹事 田野 哲・溝口匡人 幹事補佐 沢田浩和・温 允

日時 8月19日(月) 10:20~16:50

会場 芝浦工業大学豊洲キャンパス (江東区豊洲 3-7-5. 東京メトロ有楽町線:豊洲駅, 1c または 3 番出口から徒歩 7 分. http://www.shibaura-it.ac.jp/about/campus_toyosu.html TEL [03] 5859-8252 久保田周治)

議題 WLAN 関連技術, 一般

- [招待講演] oneM2M の標準化動向 調整中
 - [招待講演] ECHONET Lite のサービス事例と M2M 無線通信に求められる要件 足立崇彰 (パソニック)
- 午後
- 無線 LAN OFDM 用符号化多値変調の一検討 ○中橋敏孝・久保田周治 (芝浦工大)
 - DSSS 型 O-QPSK における狭帯域干渉抑圧時の誤り訂正効果の検討 ○大塚 翔・久保田周治 (芝浦工大)

- DSSS 型 O-QPSK における同一チャネル環境下での複数データ一括受信の検討 ○工藤一馬・久保田周治 (芝浦工大)
- 通信における時間同期と周波数同期の分離可能性条件 香田 徹・○實松 豊 (九大)・合原一幸 (東大)
- センサ協調ビーム形成法における適応送信手法による受信特性改善効果 ○別府多久哉・藤田将大・富里 繁・田野 哲・秦 正治 (岡山大)
- [パネル討論] M2M ネットワークの課題 ○加藤正文 (富士通研)・足立崇彰 (パソニック)・山崎徳和 (KDDI)

☆SRW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月21日(月) NICT (YRP) [8月16日(金)] テーマ: Network, MAC, Adhoc 関連技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

沢田浩和 (NICT)
TEL [046] 847-5055, FAX [046] 847-5011
E-mail: srw-sec@mail.ieice.org

★信号処理研究会 (SIP)

専門委員長 澤田 宏 副委員長 梶川嘉延・宝珠山 治
幹事 木下慶介・西浦敬信 幹事補佐 辻川剛範

日時 8月29日(木) 13:30~17:50

30日(金) 10:20~14:20

会場 東京農工大学小金井キャンパス繊維博物館 (http://www.tuat.ac.jp/basic_information/access/koganei/campus_map/index.html)

議題 画像処理技術, 一般 (音声音響・通信・学習・実現システム・基礎等)

29日 画像処理 I

- 動画画像信号の時空間 3 次元処理における特異性一視知覚信号処理工学の礎一 吹抜敬彦 (イムビ研)
- LDR 画像間の相関を利用した HDR 画像のノイズ除去 ○秋山瑞仁・張 熙 (電通大)
- Vectorial Total Variation via Weighted Nuclear Norm Characterization ○Shunsuke Ono (Tokyo Inst. of Tech.)・Takamichi Miyata (Chiba Inst. of Tech.)・Isao Yamada (Tokyo Inst. of Tech.)
- 数値シミュレーションに基づく PRNU ノイズを用いた撮影カメラ識別手法の信頼性評価 ○富岡洋一・伊藤雄哉・北澤仁志 (東京農工大)

基礎信号処理

- Multikernel adaptive filtering based online model selection and its adaptivity ○Ryu-ichiro Ishii (Niigata Univ.)・Masahiro Yukawa (Keio Univ.)・Shigenobu Sasaki (Niigata Univ.)
- 多目的最適化におけるパレート集合の再構成法 ○池田和司・本谷 玲 (奈良先端大)
- 脳波クラス分類のための疎性による能動的データ選択法 ○田中聡久 (東京農工大)・富田高規 (東工大)・東 広志 (東京農工大)
- Conjugate gradient method for orthogonal matrix optimization using Cayley transform Gen Hori (Asia Univ.)

招待講演

9. [招待講演] 未定 小畑秀文 (国立高等専門学校機構)

30日午前 信号処理一般

1. GAによる近接最適性原理に基づくCSD係数FIRフィルタ設計
○今泉拓也・陶山健仁 (東京電機大)
2. PSOによるIIRフィルタ設計における局所解停留回避の一検討
○西村勇司・陶山健仁 (東京電機大)
3. 線形半無限計画法によるFIRフィルタ設計における再最適化適用の検討
○榊原昇太・陶山健仁 (東京電機大)
4. 減衰窓を用いた主一般化固有ベクトル追跡による適応音響ビームフォーミング
○塩野光瑛・田中聡久 (東京農工大)
5. 2マイクロホンの指向性制御による音源分離の一提案
○青木繁治・陶山健仁 (東京電機大)

30日午後 画像処理II

6. 高速重複変換のDCTリフティング分解
○鈴木大三・工藤博幸 (筑波大)
7. フラッシュ画像のテクスチャ成分を用いたコントラスト強調
○馬場達也・松岡諒 (北九州市大)・小野峻佑 (東工大)・白井啓一郎 (信州大)・奥田正浩 (北九州市大)
8. L2, 1 mixed norm ball projection and its application to image denoising problem
Takamichi Miyata (Chiba Inst. of Tech.)
9. 二進係数に基づくコサイン・サイン変調フィルタバンクの設計
○京地清介 (北九州市大)・鈴木大三 (筑波大)・田中雄一 (東京農工大)

◆IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 共催

[問合せ先]

木下慶介 (NTT) E-mail: kinoshita.k@lab.ntt.co.jp

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 新井宏之 副委員長 長 敬三

幹事 高橋 徹・榊原久二男 幹事補佐 道下尚文

日時 8月29日 (木) 13:00~17:15

30日 (金) 9:30~16:15

会場 横須賀市勤労福祉会館ヴェルクよこすか第一会議室 (横須賀市日の出町1-5. 京浜急行:横須賀中央駅から徒歩5分.
<http://www.cs-yokosuka.com/werk/index.html> TEL [046] 841-3810 (内線3377) 道下尚文)

議題 メタマテリアル, 一般

29日

1. 複数トランスミッタレーを用いた電波伝搬環境改善に関する検討
○高橋雄太・本間尚樹 (岩手大)
2. 実時間遅延を用いるフェーズドアレーアンテナにおける空間を介した遅延時間差の推定
○丸山貴史・山口 聡・高橋 徹・宮下裕章 (三菱電機)

オーガナイズドセッション「メタマテリアル」

3. 速波遅波混成モードメタマテリアルリッジ導波路の導波路波長の簡易計算法とアレーアンテナの設計
○桐野秀樹 (パナソニックヘルステック)・小川晃一 (富山大)
4. 非相反メタマテリアルとその応用 上田哲也 (京都工繊大)
5. Non-Foster回路を用いたリアクタンス特性の制御
○堀井康史・金子卓也・高木渉吾・松原里紗 (関西大)

チュートリアル講演

6. [チュートリアル講演] 変換電磁気学の基礎
○真田篤志・永山 務 (山口大)

IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演

7. [特別講演] 電磁界シミュレーションが明かすアンテナ特性 (口頭発表) 山田吉英 (防衛大)

30日午前 オーガナイズドセッション「メタマテリアル」

1. 層間結合を考慮した二層パッチ型AMCの等価回路解析
○久世竜司・堀 俊和・藤元美俊 (福井大)・関 卓也・佐藤啓介・大島一郎 (電気興業)
2. AMC反射板付ダイポールアンテナの反射板の最適ユニットセル配置範囲
○村上靖宜・堀 俊和・藤元美俊 (福井大)
3. ループ素子で構成した周波数選択性反射板付ダイポールアンテナ
長 敬三 (千葉工大)

A・P 研

4. アンテナを集中配置したMIMOセンサの検出特性評価
○本間尚樹 (岩手大)・西森健太郎 (新潟大)・佐藤宏明・恒川佳隆 (岩手大)
5. MIMO-OFDM信号を用いたMIMOセンサの実験評価
○牛木敬太・西森健太郎 (新潟大)・本間尚樹 (岩手大)・牧野秀夫 (新潟大)

30日午後 オーガナイズドセッション「メタマテリアル」

6. Recent Progress in Electromagnetic Modeling of Metamaterials
Toru Uno (Tokyo Univ. A & T)
7. 球状負誘電率メタマテリアル殻で覆われた小形ダイポールアンテナ
○毛利克也・道下尚文・山田吉英 (防衛大)
8. マッシュルームメタ表面の異常吸収特性
○永井翔太郎・真田篤志・久保 洋 (山口大)
9. ランダム配列構造を用いたメタマテリアルによるRCS低減効果の検討
○北川真也・高萩和宏・原崎亜紀子 (防衛省)・千葉英利 (三菱電機)

A・P 研

10. Diffraction of an electromagnetic plane wave by a thick rectangular hole—Evaluation of the transmission coefficient for oblique incidences—
○Hirohide Serizawa (Numazu National Col. Tech.)・Kohei Hongo
11. 少数バラクタで電波透過遮断切替するための基礎検討
○飯草恭一・原田博司 (NICT)
12. 負荷変調を用いたプライマリ・セカンダリシステム間干渉制御法
○伊藤拓真・本間尚樹・寺崎圭祐 (岩手大)・西森健太郎 (新潟大)・恒川佳隆 (岩手大)

◆新学術領域電磁メタマテリアル, メタマテリアル第187委員会, IEEE AP-S Japan Chapter 共催

◎29日研究会終了後に懇親会を開催致しますので, 奮って御参加下さい。

☆A・P研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月12日 (木), 13日 (金) NHK 技研 [締切済] テーマ: マイクロ波ミリ波, 一般

10月3日 (木), 4日 (金) 金沢大サテライトプラザ [8月10日 (土)] テーマ: 測定, 一般

11月21日 (木), 22日 (金) 松江テルサ [9月9日 (月)] テーマ: アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合せ先]

榊原久二男 (名工大)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 高野 泰 副委員長 野毛 悟
幹事 圓佛晃次・佐藤知正 幹事補佐 小館淳一・岩田展幸

日時 8月1日(木) 13:30~16:25
2日(金) 9:20~11:35

会場 釧路生涯学習センターまなぼと幣舞(釧路市幣舞(ぬさ
まい)町4-28. JR 釧路駅から徒歩20分. JR 釧路駅からタク
シー約5分. JR 釧路駅からバスでくしろバス停留所「釧路三
慈(さんじ)会病院」下車徒歩1分. 釧路空港からバスで阿寒
バスにて約45分, MOO(ムー)バスターミナル下車徒歩5
分. <http://www.kushiro-bunka.or.jp/manabo/koutuuannai.html> TEL [0154] 41-8181(会場) 武山真弓

議題 電子部品・材料, 一般

1日

1. 高効率太陽電池の研究開発動向と今後の展望
山口真史(豊田工大)
2. 超高効率多接合太陽電池の実現に向けた GaAsN 太陽電池の
高効率化 ○池田和磨・小島信晃・大下祥雄・
山口真史(豊田工大)
3. 原子層エピタキシー法を用いた超高効率多接合型太陽電池用
材料(In)GaAsNの開発 ○鈴木秀俊・原口智宏・
山内俊浩・福山敦彦・碓 哲雄(宮崎大)
4. Si 基板表面炭化による Cubic-SiC 膜形成機構の考察
○渡邊幸宗・上村喜一(信州大)
5. 高精度ロータリーエンコーダの開発 ○藤本高志(TSC)・
上村喜一(信州大)
6. 横方向電界放出型ランプにおけるカソード電極での CNT の
利用 ○三浦 悠・佐藤知正・平手孝士(神奈川大)
7. スパッタ法による上部電極膜の作製が有機 EL 素子の動作特
性に及ぼす影響 ○星 陽一・小林信一・
内田孝幸(東京工芸大)・清水英彦(新潟大)
8. Al 及び Al₃Nb 薄膜による化学的に不活性な界面の形成
○野矢 厚・武山真弓(北見工大)

2日

1. 単層カーボンナノチューブ品質向上を目指したコールドウ
オール化学気相成長装置の基板ヒーター開発 津田悠作・
相良拓実・山川健一・吉田圭佑・岩田展幸・
○山本 寛(日大)
2. ZnO 系透明導電薄膜の作製と評価 ○野毛 悟・
小西顕太郎(沼津高専)
3. 触媒反応生成高エネルギー H₂O を用いてサファア基板上に成
長した ZnO エピタキシャル膜の結晶構造 山口直也・
竹内智彦・大橋優樹・中村友紀・永富瑛智・玉山泰宏・
○安井寛治(長岡技科大)
4. Mg 薄膜への添加金属による調光ミラー特性の検討
○清水英彦・跡部雅富・下田竜也・小林和希・岩野春男・
川上貴浩(新潟大)
5. シリコン貫通ビアに適用可能なナノ結晶組織を有する HfN_x
膜のバリエーション特性 ○佐藤 勝・武山真弓(北見工大)・
青柳英二(東北大)・野矢 厚(北見工大)
6. Cu/Si コンタクトにおける TaWN₃ 合金膜のバリエーション特性

○武山真弓・佐藤 勝・野矢 厚(北見工大)

☆CPM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月29日(木), 30日(金) サンリフレ函館〔締切済〕テ
マ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般
10月8日(火) 機械振興会館〔締切済〕テーマ: 光記録技
術・電子材料, 一般

★フォトリソネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 坂野寿和
副委員長 荒木壮一郎・戸出英樹・大木英司
幹事 長谷川 浩・荒川伸一 幹事補佐 品田 聡・釣谷剛宏

日時 8月8日(木) 13:00~17:20
9日(金) 9:00~14:30

会場 北海道大学大学院情報科学研究科 A13 講義室(札幌市北
区北14条西9丁目. <http://www.ist.hokudai.ac.jp/access/>
齊藤晋聖)

議題 フォトリソネットワーク関連技術, 一般

8日

1. 光 L2 スイッチネットワークにおける時刻配信型のタイムス
ロット同期方式の評価 ○服部恭太・中川雅弘・君島直樹・
片山 勝・三澤 明(NTT)
2. 分散管理光 CDM ネットワークの階層理論トポロジ復旧手
法 ○福田達也・馬場健一・下條真司(阪大)
3. フロー階層構造に着目したインターネットトポロジーの成長
過程の分析 ○中田 侑・荒川伸一・村田正幸(阪大)
4. Single-pump, tunable wavelength converter based on PPLN
waveguides designed by the layer peeling algorithm
○Andre Albuquerque (IT)・Benjamin Puttnam (NICT)・
Miguel Drummond (IT)・Satoshi Shinada (NICT)・
Rogerio Nogueira (IT)・Naoya Wada (NICT)
5. Over 80 dB Uplink Loss Budget of GE-PON System Using 3-
cascaded 1.3 μm SOAs ○Yasuyuki Kado (Osaka Univ.)・
Susumu Kinoshita (Fujitsu Labs.)・
Satoshi Shimizu (NICT)・Claudio Porzi (Osaka Univ.)・
Naoya Wada (NICT)・Akihiro Maruta・
Ken-ichi Kitayama (Osaka Univ.)

6. [招待講演] Y-00 光通信量子暗号とその光通信システム応
用 二見史生(玉川大)
7. [招待講演] 自由曲面光学を用いたマルチコアファイバ光結
合方式の提案 高橋浩一(オリンパス)

9日午前

1. WDM ネットワークにおける自己組織型仮想網制御の振る舞
いの評価 ○大場斗士彦・荒川伸一・小泉佑揮・
村田正幸(阪大)
2. 光 L2 スイッチネットワークにおける高速帯域再割当を実現
するパス帯域割当アルゴリズムの提案 ○中川雅弘・
服部恭太・君島直樹・片山 勝・三澤 明(NTT)
3. トランスペアレント光網における波長デフラグアルゴリズム
○門畑顕博・田中貴章・犬塚史一・渡辺 篤・
平野 章(NTT)
4. Polarization Diversity Coherent Receiver for Self-Homodyne
Detection of Polarization-Multiplexed Pilot Tone Signals
○Ruben S. Luis・Benjamin J. Puttnam・

Jose Manuel D. Mendinueta・Jun Sakaguchi・
Satoshi Shinada (NICT)・Moriya Nakamura (Meiji Univ.)・
Yukiyoishi Kamio・Naoya Wada (NICT)

5. Fast Equalizer Kernel Initialization for Coherent PDM-QPSK
Burst-mode Receivers Based on Stokes Estimator

○Jose Manuel Delgado Mendinueta・Benjamin J. Puttnam・
Ruben S. Luis・Satoshi Shinada・Naoya Wada (NICT)

6. 光パケット／光パス統合ネットワークへ適応可能な小型軽量
バースト光信号 EDFA の試作 ○白岩雅輝・淡路祥成・
古川英昭・和田尚也 (NICT)

9 日午後 (13:15~)

7. 光統合ネットワークを用いた光パス・光パケット切替実験
○荒川伸一・村田正幸 (阪大)

8. QoS に応じたパスを即時提供する光ネットワーク情報管理シ
ステムのプロトタイプ実装 ○福島 昂・高田将司・
谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

9. OpenFlow プロトコルを用いた MPLS-TP/光空間スイッチマ
ルチレイヤネットワーク制御実験 ○岡本 聡・高 山・
菊田 洸・佐藤丈博・竹下秀俊・山中直明 (慶大)

☆PN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11 月 11 日 (月), 12 日 (火) 早大西早稲田キャンパス [9 月
13 日 (金)] テーマ: IP バックボーンネットワーク,
MPLS, GMPLS, フォトニックネットワーク及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

長谷川 浩 (名大)
TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641
E-mail: hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp
荒川伸一 (阪大)
TEL & FAX [06] 6879-4542
E-mail: arakawa@ist.osaka-u.ac.jp

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 水落隆司 副委員長 富澤将人
幹事 乾 哲郎・斎藤恒聡

★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 富田 茂
幹事 泉田 史・大塚健一郎 幹事補佐 山田裕介・大村真樹

◎本研究会は OCS 研究会と OFT 研究会の併催です。研究会資
料は各研究会ごとに発行されます。

日時 8 月 22 日 (木) 14:00~17:30
23 日 (金) 9:00~15:40

会場 北海道大学情報科学研究科棟 A21 講義室 (札幌市北区北
14 条西 9 丁目。JR 札幌駅から徒歩 20 分。地下鉄南北線: 北
12 条駅から徒歩 10 分。 <http://www.ist.hokudai.ac.jp/access/>
TEL [011] 706-6542 齊藤晋聖)

議題 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光フ
ァイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技
術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機
能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定

第一種研究会開催案内

器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

22 日

OCS-1. 導波路の誘電率揺らぎによる放射損失の計算—統計力学
的方法— 狐崎直文 (青学大)

OCS-2. 同種接続損失を考慮した Aeef 拡大型純シリカコアフ
ァイバ ○平野正晃・川口雄揮・春名徹也・
山本義典 (住友電工)

OCS-3. 超低損失, 高 FOM を有する長距離伝送用光ファイバ
○春名徹也・平野正晃・田村欣章・河野健彦・大貫 聡・
山本義典・小谷野裕史・佐々木 隆 (住友電工)

OCS-4. 全ファイバ型マルチモード光増幅器における長周期グ
レーティングを用いた利得調整の検討 ○和田雅樹・
坂本泰志・森 崇嘉・山本貴司・山本文彦 (NTT)

OCS-5. 動揺水面高さ及び水深測定に関する実験報告
○吉井達也・山林由明 (千歳科技大)

OFT-6. 光を用いた水面センシングシステムにおける受光パ
ワー波形特性 ○徳永星哉・北村 心・田山恵一・
増田浩次 (鳥根大)

OFT-7. Characterization of Brillouin Scattering Properties in
Erbium-Doped Optical Fibers with Different Erbium-Doping
Concentrations ○Mingjie Ding・Neisei Hayashi・
Yosuke Mizuno・Kentaro Nakamura (Tokyo Inst. of Tech.)

OFT-8. Resonance Wavelength Fluctuations Caused by Differ
ent Discharge Conditions in Long-Period Fiber Gratings
Fabricated by a Point-by-Point Arc Discharge Technique
○Katsumi Morishita・
Yuya Yamamoto (Osaka Electro-Comm. Univ.)

23 日午前

OFT-1. パルス相関法と位相検出器を用いる二重化伝送路間の
広範囲・高精度な遅延差計測 ○井上雅晶・真鍋哲也・
納戸一貴・本田奈月・片山和典 (NTT)

OFT-2. 周波数コーディングパルス列を用いた遠端反射ブリル
アン利得解析によるスプリッタ下部測定技術 ○鬼頭千尋・
伊藤文彦・高橋 央・戸毛邦弘 (NTT)

OFT-3. 心線対照用光検出コネクタ ○井上園美・増田有希・
細川英俊・矢作雅司・平尾浩司 (SOC)

OCS-4. 太径マルチコアファイバの低損失融着技術
○安間淑通・荒川葉子・高橋 中・竹永勝宏・
松尾昌一郎 (フジカ)

OCS-5. MU コネクタ型マルチコアファイバファンアウトの開発
○渡辺健吾・齋藤恒聡 (古河電工)・境目賢義・
長瀬 亮 (千葉工大)・椎野雅人 (古河電工)

OCS-6. 空孔アシスト 2 段クラッド構造を用いた数モードマルチ
コアファイバの提案 ○渡邊達彦・國分泰雄 (横浜国大)

23 日午後

OFT-7. 曲げによる漏洩光を利用したマルチコア光ファイバの
軸回転調整 ○田中正俊・八若正義・藤巻洋介・
谷口浩一 (三菱電線)

OFT-8. ファイババンドル型マルチコアファイバファンアウト
の検討 ○阿部宜輝・鹿間光太・柳 秀一・高橋哲夫 (NTT)

OFT-9. MCF コネクタのコア位置精度と繰り返し再現性
○境目賢義・長瀬 亮 (千葉工大)・渡辺健吾・
齋藤恒聡 (古河電工)

OCS-10. IFDMA-PON システム用 ONU 変調処理回路の極座標
表現を用いた省電力実装 ○石井健二・斧原聖史・秋山祐治・
野田雅樹・野上正道・小口和海 (三菱電機)・吉田悠来・

丸田章博 (阪大)・水落隆司 (三菱電機)・北山研一 (阪大)
OCS-11. Beyond 100G に向けた再構成可能トランスポンダにお
ける容量可変収容技術 ○北村 圭・山田義朗・手島光啓・
平野 章 (NTT)

OCS-12. Pre-dispersed mutual phase-conjugation scheme for
fiber-nonlinearity mitigation in coherent optical communication
systems ○Hongbo Lu・Kazuro Kikuchi (Univ. of Tokyo)

◆レーザー学会共催

◎22日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆OCS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月24日(木), 25日(金) 門司港・海峡ロマンホール [8
月12日(月)] テーマ:超高速伝送, 変復調, 分散補償技
術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅, WDM技術, 受
光デバイス, 高光出力伝送技術, 及び一般 (ECOC報告)

11月21日(木), 22日(金) 長岡技科大 [9月7日(土)]
テーマ:光アクセスシステム・次世代PON, 地上・衛星放
送システム, 衛星通信システム, CATVシステム, イーサ
ネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信
用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定
技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受
信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ,
光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技
術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・
光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技
術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

斎藤恒聡 (古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホーム ページ: <http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS研究会では, 2007年より「光通信システム研究会 奨励
賞」及び「光通信システム研究会 論文賞」を設立しました。
毎年9月~翌年8月のOCS研究会に投稿した論文を対象に選
考し, 翌年12月の光通信システムシンポジウムにて表彰しま
す。詳しくはOCSホームページを御覧下さい

☆OFT研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月24日(木), 25日(金) エルトピア奈良 [8月5日
(月)] テーマ:一般

11月21日(木), 22日(金) 長岡技科大 [9月7日(土)]
テーマ:光アクセスシステム・次世代PON, 地上・衛星放
送システム, 衛星通信システム, CATVシステム, イーサ
ネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信
用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定
技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受
信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ,
光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技
術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・
光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技
術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

大村真樹 (住友電工)

TEL [045] 853-7167, FAX [045] 851-1565

E-mail: ohmura@sei.co.jp

◎OFT研究会では, 2011年1月より「奨励賞」, 「学生奨励賞」
を新設しました。一般講演の中から選定しますので, 積極的な
御投稿をお願い致します。

◎選奨規定については, OFT ホームページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/oft/jpn/>

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 木村光宏 副委員長 馬渡宏泰

幹事 安里 彰・岡村寛之

幹事補佐 田村信幸・マラット ザニケエフ

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕

幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 高野 泰 副委員長 野毛 悟

幹事 圓佛晃次・佐藤知正 幹事補佐 小館淳一・岩田展幸

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 山田博仁 副委員長 鈴木扇太

幹事 橋本俊和 幹事補佐 荒川太郎・中川剛二

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 松尾慎治 副委員長 近藤正彦

幹事 田中 有・有賀 博

日時 8月29日(木) 9:00~18:35

30日(金) 9:00~17:20

会場 サンリフレ函館 (函館市大森町2-14. <http://www.city-hakodate.hokkaido.jp/keizai/roudou/s-refre/index.html>)

議題 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

29日午前

1. 半導体レーザの広帯域周波数雑音を利用した物理乱数の高速生成
○近藤亮信・前原進也 (新潟大)・土井康平 (東北学院大)・新井秀明・水谷直博・佐藤 孝・坂本秀一・大平泰夫・大河正志 (新潟大)
2. 半導体レーザの周波数雑音特性を用いた物理乱数生成の検討—発振周波数狭帯化が物理乱数に及ぼす影響に関する研究—
○古川元一・斎藤高大・酒井翔太・新井秀明・前原進也・佐藤 孝 (新潟大)・土井康平 (東北学院大)・大河正志・坂本秀一・大平泰生 (新潟大)
3. 半導体レーザの周波数雑音特性を応用した光距離計測の検討
○清水直弥・前原進也 (新潟大)・土井康平 (東北学院大)・新井英明・佐藤 孝・大河正志・大平泰生・坂本秀一 (新潟大)
4. 直接変調を用いた半導体レーザの発振周波数の安定化とその応用
○松木航平・二文字俊哉・塚本翔也・佐藤 孝・大河正志 (新潟大)
5. InP基板上 type II InAs/GaSb 超格子を用いた中赤外センサ
○三浦広平・猪口康博 (住友電工)・河村裕一 (阪府大)
6. チップ間光インターコネクタに向けた Si 基板上ハイブリッド集積光源の低消費電力動作実証
○羽鳥伸明・

- 清水隆徳 (PETRA)・岡野 誠 (産総研)・石坂政茂・
山本剛之・賣野 豊 (PETRA)・森 雅彦 (産総研)・
中村隆宏 (PETRA)・荒川泰彦 (東大)
7. フリップチップ実装 EADFB レーザアレイモジュールの低ク
ロストーク・広帯域動作 ○金澤 慈・藤澤 剛・
高畑清人・大木 明・伊賀龍三・石井啓之 (NTT)

29 日午後 (12:45~)

8. [招待講演] ユビキタスネットワーク社会における水産業
和田雅昭 (公立はこだて未来大)
9. [招待講演] 光通信用高耐湿性光学接着剤の開発—寿命, 偏
波依存性損失抑制特性及びハイパワー耐性—
○三田地成幸 (東京工科大)・木村和資 (横浜ゴム)
10. 樹脂固定技術による高信頼性フルバンドチューナブルレーザ
モジュールの開発 ○有賀麻衣子・菅谷俊雄・秋月一能・
中島康雄・新子谷悦宏・木村俊雄 (古河電工)
11. MTPICE 技術の検討 ○竹崎元人 (白山製作所)・
長瀬 亮 (千葉工大)
12. BOF を用いた光ファイバセンサによる圧力測定 (2)
○松田健太郎・長瀬 亮 (千葉工大)
13. HPCF コネクタの接続損失に関する研究 ○飯久保忠久・
長瀬 亮 (千葉工大)
14. 準静電界センシングによる LSI 内部構造の評価
○眞田 克 (高知工科大)・伊藤誠吾 (こが電子工房)
15. [依頼講演] 915 nm 半導体レーザーの高出力化における窓構
造とその特性 ○吉田治正・森田剛徳・長倉建人・
鳥井康介・高氏基喜・前田純也 (浜松ホトニクス)
16. 選択注入機構 1.9 THz 量子カスケードレーザの高温動作
○佐々木美穂・林 宗澤・平山秀樹 (理研)
17. 電流狭溝溝を有するフォトニック結晶レーザ
○武田浩司・佐藤具就・碓塚孝明・新家昭彦・野崎謙吾・
谷山秀昭・納富雅也・長谷部浩一・松尾慎治 (NTT)
18. 高光損傷耐性位相変調器集積化 PPLN 導波路を用いた位相
感応増幅器の低雑音動作 ○圓佛晃次・梅木毅行・
遊部雅生・竹ノ内弘和 (NTT)
19. 4.6 μm 帯差周波光源を用いた植物栽培時に発生する N_2O の
その場測定用ガス検出システム ○登倉明雄・遊部雅生・
圓佛晃次 (NTT)・吉原利一・橋田慎之介 (電中研)・
竹ノ内弘和 (NTT)

30 日午前

1. [招待講演] 光デバイスの標準化の動向
磯野秀樹 (富士通オプティカルコンポネツツ)
2. InP 系 90° ハイブリッド集積 PD を搭載した小型コヒーレン
トレシーバ ○武智 勝・立岩義弘・八木英樹・米田昌博・
山路和宏・藤村 康・原 弘・荻田省一 (住友電工)
3. 小型・広帯域 FPC コネクタを用いた高速光インターコネク
トモジュール ○八木澤孝俊・白石 崇・
菅原茉莉子 (富士通研)・三木康幸・
小林 満 (富士通コンポネツツ)・田中一弘 (富士通研)
4. 3 層 FPC を用いた 40 Gbps 1.55- μm EML TOSA の開発
○白尾瑞基・大島伸夫・宇藤健一・深尾哲宏・八田竜夫・
有賀 博 (三菱電機)
5. SOA 集積 InP 系マッハツェンダー変調器の 10.7 Gbps-80 km
フル C-band アンクルド動作 ○笹田紀子・中西 慧・
佐久間 康・鷺野 隆・岡本 薫・直江和彦 (日本オケトロ)・
有本英生・田中滋久 (日立)
6. 1.3 μm InGaAlAs 直接変調レーザの高速 50 Gb/s 動作

- 小林 亘・藤澤 剛・山中孝之・伊藤敏夫 (NTT)・
田所貴志 (東京電機大)・三条広明 (NTT)
7. 側面格子導波路を有する PIN 型シリコン変調器の高速・高効
率動作の検討 ○秋山 傑・馬場 威・今井雅彦 (PETRA)・
平山直紀 (産総研)・高橋博之 (PETRA)・埜口良二・
堀川 剛 (産総研)・白杵達哉 (PETRA)

30 日午後 (13:05~)

8. [招待講演] OECC/CLEO-PR2013 報告—アクティブデバイ
ス・モジュール関連— 宮本智之 (東工大)
9. [招待講演] OECC/CLEO-PR2013 報告—パッシブデバイ
ス・モジュール関連— 高橋正典 (古河電工)
10. 半導体量子井戸マイクロリングレーザの隣接発振波長を用い
た全光フリップフロップとインバータ動作 ○宮本富成・
梅原 周・小林広樹・谷口理一・カトフ レドワン・
荒川太郎・國分泰雄 (横浜国大)
11. 偏光双安定 VCSEL を用いた全光型ヘッダ識別による光パ
ケットスイッチング ○片山健夫・河口仁司 (奈良先端大)
12. InGaAs ポテンシャル制御量子井戸を用いた偏光無依存 2x2
光スイッチの理論検討 ○富永寛輝・盧 柱亨・
荒川太郎 (横浜国大)
13. 電磁波ビームの解析解とその物理的意味について
川上彰二郎 (仙台応用情報学研究振興財団)
14. 一様なシリカ層を有するハイブリッドプラズマニック導波路
の基本特性に関する調査 ○長井 優・石坂雄平・
齊藤晋聖 (北大)
15. 光波長可変フィルタのための強誘電性液晶装荷 Si Gre
ーディング導波路の理論特性解析と製作 ○加藤亜希文・
中津原克己・端山喜紀 (神奈川工科大)
16. 誘電体多層膜フィルタを用いた光ファイバ水中音響センサの
実験 ○遠藤隆昭・松崎正博・長瀬 亮 (千葉工大)
17. シリコン導波路型光アイソレータにおける動作帯域拡大
庄司雄哉・白土雄也・○水本哲弥 (東工大)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催 日本信頼性学会
協賛

☆R 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月18日(金) kyutech プラザ [8月14日(水)] テーマ:
信頼性一般

11月14日(木) 中央電気倶楽部 [9月16日(月)] テーマ:
半導体と電子デバイスの信頼性, 信頼性一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

田村信幸 (法政大)
TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126
E-mail: tamura@hosei.ac.jp

☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月16日(土), 17日(日) 華中科技大 (中国・武漢) [締
切済] テーマ: 国際セッション IS-EMD2013

【問合せ先】

関川純哉 (静岡大)
TEL & FAX [053] 478-1618
E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp
久我宣裕 (横浜国大)
TEL & FAX [045] 339-4279
E-mail: kuga@ynu.ac.jp
服部康弘 (住友電装)

TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591

E-mail : yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

阿部宜輝 (NTT フォトニクス研究所)

TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421

E-mail : abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は、<http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

☆CPM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月8日(火) 機械振興会館〔締切済〕テーマ：光記録技術・電子材料，一般

☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月24日(木)，25日(金) 門司港・海峡ロマンホール〔8月12日(月)〕テーマ：超高速伝送，変復調，分散補償技術，超高速光信号処理技術，広帯域光増幅，WDM 技術，受光デバイス，高光出力伝送技術，及び一般 (ECOC 報告)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

橋本俊和 (NTT フォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail : hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

荒川太郎 (横浜国大)

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

TEL [045] 339-4143, FAX [045] 338-1157

E-mail : arakawa@ynu.ac.jp

中川剛二 (富士通研)

〒211-8588 川崎市中原区上小田中 4-1-1

TEL [044] 754-2643, FAX [044] 754-2640

E-mail : gnakagawa@jp.fujitsu.com

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では、H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会 HP を御覧下さい。

☆LQE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月24日(木)，25日(金) 門司港・海峡ロマンホール〔8月12日(月)〕テーマ：超高速伝送，変復調，分散補償技術，超高速光信号処理技術，広帯域光増幅，WDM 技術，受光デバイス，高光出力伝送技術，及び一般 (ECOC 報告)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

田中 有 (富士通研)

TEL [046] 250-8251, FAX [046] 250-8146

E-mail : yu_tanaka@jp.fujitsu.com

有賀 博 (三菱電機)

TEL [0467] 41-2906, FAX [0467] 41-2519

E-mail : Aruga.Hiroshi@ab.MitsubishiElectric.co.jp

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/~lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者 (学生を含む) です。積極的に御投稿下さい。

★福祉情報工学研究会 (WIT)

専門委員長 井野秀一 副委員長 泉 隆

幹事 和田親宗・酒向慎司・若月大輔

幹事補佐 雨宮智浩・伊藤 尚

日時 8月29日(木) 13:00~18:00

30日(金) 9:00~15:40

会場 北海道大学情報科学研究科棟 (札幌市北区北 14 条西 9 丁目。地下鉄南北線：北 12 条駅から徒歩 10 分。 <http://www.ist.hokudai.ac.jp/access/>)

議題 福祉情報工学一般

29 日

1. 触覚センサによる介護ロボット双腕上の被介護者の位置推定
○森 友揮 (理研)・池浦良淳 (三重大)・丁 明 (理研)
2. 足底皮膚にずれ刺激を提示する装置の試作と閾値測定
○近井 学 (産総研/長岡技科大)・井野秀一 (産総研)・高橋紀代 (篤友会リハビリテーションクリニック)・大西忠輔 (昭和伊南総合病院)・佐藤 満 (昭和大)・布川清彦 (東京国際大)・土井幸輝 (特総研)・吉村眞一 (飛鳥電機製作所)
3. 介護作業用スマートスーツ・ライトによる体幹安定化効果の動作解析
○今村由芽子・田中孝之 (北大)・鈴木善人 (スマートサポート)・瀧澤一騎・山中正紀 (北大)
4. 車椅子移乗時の転倒予防システム—振動触覚による注意喚起手段の提案—
○桶田 周・泉 隆 (東海大)・松下英史・杉原俊一 (秀友会病院)・田中敏明 (東大)
5. 拡張型周期入力制御による歩行アシストのためのスキルアシスト
○吉藤拓土・田中孝之・日下 聖 (北大)・梶原秀一 (室蘭工大)
6. スマートスーツの補助力最適化のための動作計測と認識
○若杉素秋・田中孝之・奈良博之・日下 聖・金子俊一 (北大)

7. 動作認識を用いた酪農作業用スマートスーツの補助力制御

○奈良博之・田中孝之・日下 聖・若杉素秋 (北大)・山岸孝幸・小倉庄太郎 (三菱電機エンジニアリング)

8. [特別講演] 軽労化アシストシステムと情報ロボット技術のチャレンジ
田中孝之 (北大)

30 日午前

1. ケアサービスへの技術導入に関する調査報告
○梶谷 勇・阪口 健・松本吉央・谷川民生・神徳徹雄 (産総研)
2. 生体信号を利用した ALS 患者の Yes/No 意思伝達方法—判別分析法とサポートベクターマシンの比較検討—
○小澤邦昭・仙石淳子・内藤正美 (東京女子大)・尾形 勇・金澤恒雄 (エケル)
3. ヒトの動作・脳活動に基づく福祉機器評価のための計測と解析に関する基礎的研究
井上拓晃 (諏訪東京理科大)
4. 自動車運転時の空間認知の基礎的研究
清水俊治 (諏訪東京理科大)
5. 触覚フィードバックによる音声ピッチ制御—歌唱時のピッチの正確性について—
○坂尻正次・三好茂樹 (筑波技大)・中邑賢龍・福島 智・伊福部 達 (東大)

30 日午後

6. 「助け合いサイン」の開発と普及
神田和幸 (京都工織大)
7. かごしま水族館における情報保障に関する取り組み事例
○木村 勉 (豊田高専)・神田和幸 (京都工織大)・

大塚美香 (鹿児島市水族館公社)

8. 局所的な振動が可能な触覚ディスプレイ提示方式の開発—より視覚的な情報伝達を実現するために— ○坂井忠裕・半田拓也・清水俊宏 (NHK)・村山慎二郎 (リクルート)
9. ロービジョンのためのスマートフォンを用いた買い物支援システムの実装と評価 ○本田智史 (専修大)・高橋伊久夫 (7-11情報システム)・吉田享子 (専修大)
10. インタラクティブ型触覚グラフィクスディスプレイの大域情報取得手法 ○島田茂伸 (都立産技研センター)・村瀬 悠・下条 誠 (電通大)
11. 高強度・軽量化を実現するアラミド繊維強化プラスチック製白杖の開発とその評価—上肢負担軽減効果の評価法に関する実験的検討— ○土井幸輝 (特総研)・菅間 敦 (首都大東京)・西村崇宏 (早大)・瀬尾明彦 (首都大東京)・井野秀一 (産総研)・布川清彦 (東京国際大)・小菅一彦 (KOSUGE)・宮崎明人 (A-Tech)・杉山雅章 (日本点字図書館)・田中良広・澤田真弓・金子 健・大内 進・金森克浩 (特総研)

◎29日の研究会終了後、懇親会を開催する予定です。

☆WIT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月 [未定]

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

8. Kinect を用いた複数聴取者向け聴覚ディスプレイシステムの構築に関する検討 ○鈴木康平・渡邊貴治・佐藤宗純・高根昭一・安倍幸治 (秋田県立大)
9. 正則化最小二乗法を用いた頭部伝達関数の多方向同時推定 ○金井関利・足立修一 (慶大)・松井健太郎・安藤彰男 (NHK)
10. 耳介形状から推定したスペクトラルノッチ周波数に基づいた頭部伝達関数の個人化 ○飯田一博・石井要次・西岡伸介 (千葉工大)
11. 両耳情報に基づく音の包み込まれ感の推定モデルに関する一考察 ○渡邊一樹 (山梨大)・澤谷郁子・大出訓史・小野一穂・安藤彰男 (NHK)・小澤賢司 (山梨大)

◆日本音響学会；電気音響研究会／聴覚研究会共催

☆EA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月 休会

10月11日 (金) NTTCS 研 [未定] テーマ：一般

11月14日 (木), 15日 (金) 県立広島大 [未定] テーマ：異種メディア融合, コンテンツ処理, メディア検索, 電子透かし, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

水町光徳 (九工大)

TEL [093] 884-3245, FAX [093] 884-3203

E-mail : mizumach@ecs.kyutech.ac.jp

— 東北支部における開催 —

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 岩谷幸雄 副委員長 三好正人・苮木禎史
幹事 戸上真人・水町光徳 幹事補佐 宮部滋樹

日時 8月9日 (金) 10:00~17:20

会場 東北大学電気通信研究所 2号館 4階大会議室 (仙台市青葉区片平 2-1-1. <http://www.riec.tohoku.ac.jp/access/index-j.shtml> 坂本修一)

議題 音響信号処理, 聴覚, 一般

1. 複素時間窓を利用した混合音声の分析手法の検討
○伊藤 仁 (東北工大)・伊藤彰則 (東北大)
2. 親密度を統制した4連単語によるロングパスエコー下の了解度
○虎井 駿・崔 正烈・坂本修一 (東北大)・佐藤逸人・森本政之 (神戸大)・鈴木陽一 (東北大)
3. 音声の因子分析と再合成—因子の除去が明瞭性に与える効果—
○岸田拓也・中島祥好・上田和夫 (九大)
4. 圧縮モザイク音声の知覚：音声と雑音の分離 ○仲田愛子・中島祥好・上田和夫・Gerard B. Remijn (九大)
- 午後 (13:30~)
5. 包囲型マイクロホン・スピーカアレイによる音空間レンダリングの試み
○土屋隆生 (同志社大)・岩谷幸雄 (東北学院大)・大谷 真 (信州大)・井口 寧 (北陸先端大)
6. 動的トランスオーラル再生による音像定位 ○大谷 真・倉林宏明・伊東一典・橋本昌巳・香山瑞恵 (信州大)
7. ステレオ画像聴取者センシングの開発と3次元聴覚ディスプレイへの導入 ○伊藤敦郎・鈴木陽一・酒井修二・伊藤康一 (東北大)・大内 誠 (東北福祉大)・坂本修一・青木孝文 (東北大)・岩谷幸雄 (東北学院大)

第一種研究会開催案内

★ソフトウェアインタプライズモデリング研究会 (SWIM)

専門委員長 野地 保 副委員長 須栗裕樹・黒瀬 晋
幹事 宇田川佳久・荻野 正 幹事補佐 結城 修

日時 8月21日 (水) 13:00~18:00

会場 宮城大学仙台駅前 AER (アエル) サテライトキャンパス (仙台市青葉区中央 1-3-1 AER (アエル) 24階. JR: 仙台駅から徒歩2分. <http://www.sendai-aer.com/location/> TEL [090] 6685-3785 須栗裕樹)

議題 インタプライズモデル化, 一般

1. [基調講演] 震災復興のビジネスモデル (仮題)
藤原正樹 (宮城大)
2. クラウド環境におけるトランザクション処理の性能評価
○國枝秀行・新川芳行 (龍谷大)
3. CPN による UML クラス図とステートマシン図間の整合性検証
○小原正義・新川芳行 (龍谷大)
4. BASE トランザクションにおけるデータ整合性
○西田紗知・新川芳行 (龍谷大)
5. ビジネスモデル実現のための構成要素に関する一考察
丸山文宏 (富士通研)
6. 鉄道統計年報を用いた DEA の活用 仲田知弘 (運輸調査局)
7. ビジネスモデリング方法論の確立に向けて
松本正雄 (ドットコム大)
8. ビジネスモデルを科学する—プロジェクト報告 004—
片岡信弘 (元東海大)

☆SWIM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月29日 (金) 東京工芸大 [未定] テーマ：インタプライズモデル化, 一般ワークショップ

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

告 13

【問合先】

宇田川佳久 (東京工芸大)

E-mail : udagawa@cs.t-kougei.ac.jp

黒瀬 晋 (NEC)

E-mail : s-kurose@pd.jp.nec.com

——信越支部における開催——

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 齋藤宏文 副委員長 福島荘之介

幹事 辻 政信・灘井章嗣 幹事補佐 木寺正平

日時 8月23日(金) 13:00~16:50

会場 新潟大学五十嵐キャンパス中央図書館ライブラリホール
(新潟市西区五十嵐2の町805. JR新潟駅下車, 新潟交通バス
「新大中門」(約45分) 下車徒歩1分. またはJR新潟大学前
から徒歩15分. http://www.niigata-u.ac.jp/top/access_ikarashi.html TEL [025] 262-7751 朴 相根)

議題 環境計測及び一般

- あけぼの衛星太陽電池出力の変動とプロトン放射線帯の関連
○三宅 互 (東海大)・三好由純 (名大)・松岡彩子 (JAXA)
- 積雪面上及び埋雪アンテナによるGNSS受信信号に対する積雪の影響評価のための冬季実験
○吉原貴之 (電子航法研)・本吉弘岐・佐藤 威・山口 悟 (防災科研)・齋藤 享 (電子航法研)
- 自由走査式測定システムによる電磁波散乱分布の可視化の検討
○山田敏弘・山田寛喜・山口芳雄 (新潟大)
- 最小自乗法を使用した複数センサ追尾
小菅義夫 (長崎大)
- 透過レーダによる多層誘電体の等価誘電率と厚みの推定法
○小林弘一 (阪工大)・高岡峻一・山口芳雄 (新潟大)・周 虹 (阪工大)
- L-バンドPOLARSAR画像分解における様々な散乱モデル分解法
の特性評価
○佐藤大輔・渡邊卓磨・山田寛喜・バク サンウン・ツイ イー・山口芳雄 (新潟大)
- 目標測角のためのクラッタ抑圧ビーム形成方法
○原 六蔵・平田和史 (三菱電機)
- 偏波相関係数を用いた水域と自然領域の検出に関する検討
○渡辺祐太・山本和朋・Park Sang-Eun・山口芳雄・山田寛喜 (新潟大)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

☆SANE研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月22日(金), 23日(土) 東北大萩ホール [9月13日(金)] テーマ: 第12回地下電磁計測ワークショップ

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail : nandai@nict.go.jp

辻 政信 (JAXA)

TEL [050] 3362-7646

E-mail : tsuji.masanobu@jaxa.jp

★衛星通信研究会 (SAT)

専門委員長 上羽正純 副委員長 樫木勘四郎・豊嶋守生

幹事 山下史洋・今田諭志

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 村田英一・岡本英二

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 星野正幸・増野 淳・森田基樹・岡崎彰浩・三上 学

◎本研究会はSAT研究会とRCS研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 8月29日(木) 10:30~18:05

30日(金) 9:00~16:30

会場 信州大学長野(工学)キャンパス総合研究棟1階大会議室
(長野市若里4-17-1. JR長野駅東口から徒歩20分. <http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map03.html> TEL [026] 269-5255 田久 修)

議題 移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

29日午前 RCS1

RCS-1. DS-CDMA分散アンテナネットワークにおける上りリンク容量
○井下翔平・宮崎寛之・安達文幸 (東北大)

RCS-2. 干渉電力に基づいてチャンネルを棲み分ける動的チャンネル配置における干渉テーブルを利用したSIRベースの送信電力制御
○松村祐輝・天間克宏 (東北大)・石原浩一・ヒランタ アバーセーカラ・熊谷智明 (NTT)・安達文幸 (東北大)

RCS-3. オンデマンドWiFiウェイクアップにおけるウェイクアップチャンネル選択法に関する一検討
○義若 武・四方博之 (関西大)

RCS-4. オンデマンドWiFiウェイクアップのための受信レベル相関を用いたウェイクアップフレーム検出法に関する一検討
○谷 知幸・四方博之 (関西大)

29日午後 SAT1 (13:25~)

SAT-5. 主反射鏡機械駆動によりビーム走査範囲を拡大したアレー給電反射鏡アンテナ
○山本伸一・稲沢良夫・宮下裕章 (三菱電機)

SAT-6. 集合分割法を用いた8PSK符号化変調のLDPC符号化率最適化に関する一検討
○鈴木陽一・橋本明記・松崎敬文・田中祥次・木村武史 (NHK)

SAT-7. 階層型衛星ネットワークにおけるネットワーク容量を考慮した経路制御に関する一検討
○吉田和真・西山大樹・加藤 寧 (東北大)

SAT-8. 災害時における携帯電話基地局の船上開設に向けた実証実験
○福家直樹・遠藤 晃 (KDDI)

RCS2

RCS-9. Tomlinson-Harashima Precodingを用いるシングルキャリアマルチユーザMIMO下りリンクへのSTBCダイバーシチの適用効果
○吉岡翔平・熊谷慎也・安達文幸 (東北大)

RCS-10. 適応変調と可変多重度数を用いたシングルキャリアMIMO通信
○長岡 諒・熊谷慎也・安達文幸 (東北大)

RCS-11. Coordinated Linear Precoding in Downlink Multicell MU-MISO OFDMA Networks
○Mirza Golam Kibria・Hidekazu Murata (Kyoto Univ.)

RCS-12. 11GHz帯フィールド実験データを使用した8x8見通しMIMOにおける反射板効果の検証
○シン キュン・

須山 聡・小田恭弘・奥村幸彦 (NTTドコモ)

招待講演

共通-13. [招待講演] 信大衛星“ぎんれい”と可視光通信

○半田志郎・中島 厚 (信州大)

30日午前 SAT2

SAT-1. スペクトラム分解アダプタにおけるブラインド型周波数同期方式の実験的検証

○阿部順一・中平勝也・杉山隆利 (NTT)

SAT-2. スペクトラム圧縮伝送における自己スペクトラム再生型等化処理の実験的検証

○増野 淳・阿部順一・杉山隆利 (NTT)

SAT-3. 強化型多偏波多重 (EPPM) 方式の提案とその特性

○夜船誠致・ウェバー ジュリアン・矢野一人・伴 弘司・小林 聖 (ATR)

RCS3

RCS-4. QZS ショートメッセージSS-CDMA 通信におけるユーザ間タイミング偏差とシステム容量の検討

○平 明德・三宅裕士・亀田 卓・末松憲治・高木 直・坪内和夫 (東北大)

RCS-5. データロスのないSC-OFDM向け帯域外スペクトル制限手法

○長谷川文大・東中雅嗣・岡崎彰浩・石津文雄 (三菱電機)

RCS-6. Dynamic Beamforming and Doppler Estimation for High-Speed Train System

○Chen Li・Takuro Sato (Waseda Univ.)

30日午後 特集セッション 衛星一地上ネットワーク連携技術

共通-7. [依頼講演] 移動衛星通信の最近の動向について

○三浦 周・辻 宏之・秋岡真樹・高橋 卓・吉村直子・平良真一・豊嶋守生・門脇直人 (NICT)

共通-8. [依頼講演] リソースユニットを用いた災害時の通信復旧とWINDS車載移動局との連携

瀬林克啓 (NTT)

共通-9. [依頼講演] Terrestrial-Satellite Hybrid Communication Networks in International Standards

○Cristina Ciochina-Duchesne・Damien Castelain・Loic Brunel・David Mottier (MERCE)・Fumihiro Hasegawa・Masatsugu Higashinaka・Akihiro Okazaki (Mitsubishi Electric)

共通-10. [依頼講演] LTE-Advanced の概要

星野正幸 (パソナ)

RCS4

RCS-11. LTE/LTE-Advanced ヘテロジニアスネットワークにおける小セル基地局展開時のハンドオーバー性能評価

○山本俊明・小西 聡 (KDDI 研)

RCS-12. Analysis of the high throughput achieved by Synchronized Multi-Hop Protocol under Variable Rate Multi-Hop Wireless Network

○Xinru Yao・Yasushi Wakahara (Univ. of Tokyo)

RCS-13. 通信環境の自動取得によるセンサネットワークの端末位置推定

○植村元紀・半田志郎・田久 修・笹森文仁 (信州大)

◎29日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆SAT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月24日(木), 25日(金) IP ホテル福岡 [締切済] テーマ: 衛星通信技術及び一般 (JC-SAT 2013)

[問合先]

SAT 研究会幹事

第一種研究会開催案内

E-mail: sat_ac-sec@mail.ieice.org

山下史洋 (NTT)

TEL [046] 859-2093, FAX [046] 855-1752

今田諭志 (KDDI 研)

TEL [080] 6744-6252, FAX [03] 6678-0457

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月17日(木), 18日(金) 上智大 [8月8日(木)] テーマ: 無線通信方式, 無線通信システム, 標準化及び一般

11月21日(木), 22日(金) 松江テルサ [9月9日(月)] テーマ: アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

岡崎彰浩 (三菱電機)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

——北陸支部における開催——

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三

幹事 笹子佳孝 幹事補佐 黒田理人

★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 山村 毅 副委員長 藤島 実

幹事 松岡俊匡・渡辺 理

幹事補佐 大内真一・吉田 毅・土谷 亮・範 公可

日時 8月1日(木) 9:00~17:10

2日(金) 9:00~17:20

会場 金沢大学角間キャンパス自然科学本館1F大会議室(金沢市角間町, TEL [076] 234-4861 松田吉雄)

議題 低電圧/低消費電力技術, 新デバイス・回路とその応用

1日午前

1. SOI 構造における急峻なサブスレッショルド特性の解析

○森 貴之・井田次郎 (金沢工大)

2. 合成電界効果によるトンネルトランジスタの性能向上

○森田行則・森 貴洋・右田真司・水林 亘・田邊顕人・福田浩一・遠藤和彦・松川 貴・大内真一・柳 永シュン・昌原明植・太田裕之 (産総研)

3. マルチ・ゲート酸化膜を備え, 自己整合プロセスを用いた Dual Work Function (DWF) MOSFETs の低消費 RF アプリケーションに対するスケーリングの方針

○宮田俊敬・川中 繁・外園 明・大黒達也・豊島義明 (東芝)

4. [招待講演] これからの集積回路技術: 部品からの脱却

益 一哉 (東工大)

5. [招待講演] 三次元集積技術の世界動向と日本のこれからの取り組み

池田博明 (ASET)

1日午後

6. [招待講演] Tera-Scale Three-Dimensional Integration (3D) using Bumpless TSV Interconnects

Takayuki Ohba (Tokyo Inst. of Tech.)

7. [招待講演] 貫通シリコンビアとアクティブインタポーザを用いた, 4096 bit 幅 100 GByte/秒ワイド I/O の設計と診断

○永田 真・高谷 聡 (神戸大)・池田博明 (ASET)

告 15

8. [招待講演] 方向性結合器を用いた携帯機器用途向け
0.15 mm 厚非接触コネクタ ○小菅敦丈・水原 渉・
四手井綱章・竹谷 勉・三浦典之・田口眞男・石黒仁揮・
黒田忠広 (慶大)

9. [パネル討論] 3d Integration: 何を、いつから期待する?
○益 一哉 (東工大)・池田博明 (ASET)・
永田 真 (神戸大)・高橋健司 (東芝)・大場隆之 (東工大)・
鈴木大介 (Pezy Comp)

2日午前

1. SRAM セル安定性指標パラメータの検討: ノイズマージンか
Vmin か? ○クマール アニール・更屋拓哉 (東大)・
宮野信治 (半導体理工学研究センター)・平本俊郎 (東大)
2. 完全空乏型 Silicon-on-Thin-BOX (SOTB) SRAM セルの電
源電圧 0.4 V におけるセル電流ばらつき低減
○水谷朋子 (東大)・山本芳樹・横山秀樹・篠原博文・
岩松俊明・尾田秀一・
杉井信之 (超低電圧デバイス技術研究組合)・平本俊郎 (東大)
3. 低コスト・マルチ Vt 非対称 Halo MOS による Vmin 改善と
スタンバイリーク低減を実現した 45 nm 6T-SRAM
○新居浩二・藪内 誠・藤原英弘・塚本康正・
石井雄一郎 (ルネサス エレクトロニクス)・松村哲哉 (日大)・
松田吉雄 (金沢大)

4. 0.72 ns 高速読出しと 50% 電力削減を実現する 2T ペアビット
セル・カラムソース線バイアス制御方式の 28 nm マスク ROM
○梅本由紀子・新居浩二・石川次郎・藪内 誠・塚本康正・
田中信二・田中浩司・森 和孝・柳沢一正 (ルネサス エレクトロニクス)
5. 28 nmHKMG テクノロジーにおける EM 耐性を強化した 1.8 V
I/O NMOS 電源スイッチによる 123 uW スタンバイ電力技術
○福岡一樹・森 涼・加藤 章・五十嵐満彦・澁谷宏治・
山木貴志・田中信二・新居浩二・森田貞幸 (ルネサス エレクトロニクス)・
小池貴夫・阪本憲成 (ルネサス モバイル)

6. [招待講演] 時間領域アナログ&デジタル混成信号処理技術
を用いた LDPC 復号回路 ○宮下大輔・山城 遼 (東芝)・
橋吉和典 (東芝マイクロエレクトロニクス)・小林弘幸・香西昌平・
大脇幸人・畝川康夫 (東芝)

2日午後

7. A 4-to-8.7 ENOB, 0.4-to-1 V Power Supply, up to 100 MS/s
Scalable Asynchronous SAR-ADC in 40 nm-CMOS with Wide
Operating Range SAR controller ○Yosuke Toyama・
Akira Shikata・Ryota Sekimoto・Kentaro Yoshioka・
Tadahiro Kuroda・Hiroki Ishikuro (Keio Univ.)
8. A 40 nm CMOS Full Asynchronous Nano-Watt SAR ADC
with 98% Leakage Power Reduction by Boosted Self Power
Gating ○Ryo Saito・Ryota Sekimoto・Akira Shikata・
Kentaro Yoshioka・Tadahiro Kuroda・
Hiroki Ishikuro (Keio Univ.)
9. MOSFET の動作領域の統一による D/A コンバータの線形性
の向上 蓬田拓夢 (電通大)
10. [招待講演] A 10th Generation 16-Core SPARC64 Process-
or for Mission-Critical UNIX Server ○Ryuji Kan・
Tomohiro Tanaka・Go Sugizaki・Ryuichi Nishiyama・
Sota Sakabayashi (Fujitsu)・
Yoichi Koyanagi (Fujitsu Lab.)・Ryuji Iwatsuki・
Kazumi Hayasaka (Fujitsu)・
Taiki Uemura (Fujitsu Semiconductor)・Gaku Itou・
Yoshitomo Ozeki・Hiroyuki Adachi・Kazuhiro Furuya・

Tsuyoshi Motokurumada (Fujitsu)

11. [招待講演] A 28 nm High-k Metal-Gate Single-Chip Com-
munications Processor with 1.5 GHz Dual-Core Application
Processor and LTE/HSPA+ Capable Baseband Processor
Masaki Fujigaya・Noriaki Sakamoto・Takao Koike・
Takahiro Irita・Kohei Wakahara・Tsugio Matsuyama・
Keiji Hasegawa・Toshiharu Saito・Akira Fukuda・
Kaname Teranishi (Renesas Mobile)・Kazuki Fukuoka・
Noriaki Maeda・Koji Nii (Renesas Electronics)・
○Takeshi Kataoka・Toshihiro Hattori (Renesas Mobile)
12. バルク制御によるオペアンプの入力同相電圧広域化
○大澤 衛・範 公可 (電通大)
13. アフィン動きモデル推定プロセッサの顔器官追跡への応用
○森田峻介・深山正幸・松田吉雄 (金沢大)
14. フィードバック型ソースフォロワを採用した太陽電池駆動
5 mm³ ワイヤレスセンサノードを実現する間欠送信回路
○松永賢一・大嶋尚一・森村浩季・原田 充 (NTT)

◆IEEE SSCS Japan/Kansai Chapter 共催

☆ICD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月5日(木), 6日(金) 会津大 [未定] テーマ: 第5回ア
クセラレーション技術発表討論会—脳を超えよう!—

【問合先】

松岡俊匡 (阪大)

TEL & FAX [06] 6879-7792

E-mail: matsuoka@eei.eng.osaka-u.ac.jp

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 原 直紀 副委員長 前澤宏一

幹事 上田哲三・葛西誠也 幹事補佐 松永高治・鈴木寿一

日時 8月8日(木) 14:00~17:35

9日(金) 9:00~11:45

会場 富山大学工学部大会議室 (富山市五福 3190. 富山駅から
市内電車 (路面電車) で「大学前」(約 20 分). [http://www.
eng.u-toyama.ac.jp/others/access.html](http://www.eng.u-toyama.ac.jp/others/access.html) TEL [076] 445-
6725 前澤宏一)

議題 半導体プロセス・デバイス (表面, 界面, 信頼性), 一般
8日

1. 共鳴トンネルダイオードを用いた極短パルス生成器の高出力
化 ○呉 東坡・水牧勝太郎・潘 杰・森 雅之・
前澤宏一 (富山大)
2. 高性能共鳴トンネルダイオードのための熔融ガリウムポンプ
を用いた Fluidic Self-Assembly ○中野 純・柴田知明・
森田弘樹・坂本 宙・森 雅之・前澤宏一 (富山大)
3. トンネルダイオード線路上のエッジ振動ダイナミクス
楢原浩一 (山形大)
4. [招待講演] 容量-周波数-温度マッピングによる GaN 系金
属-絶縁体-半導体デバイスの解析 ○鈴木寿一・
Hong-An Shih・工藤昌宏 (北陸先端大)
5. スパッタリング堆積 BN 膜の AlGaIn/GaN 金属-絶縁体-半導
体ヘテロ接合電界効果トランジスタへの応用
○山本裕司・Tuan Quy Nguyen・Hong-An Shih・工藤昌宏・
鈴木寿一 (北陸先端大)
6. AlGaIn/GaN と金属との反応による二次元電子ガス濃度と移
動度の増加 ○徳田博邦・小島敏和・葛原正明 (福井大)

7. Al₂O₃/n-Ga₂O₃ MOS ダイオード特性評価 ○上村崇史・
ワン マンホイ (NICT)・佐々木公平 (タムラ製作所)・
ダイワシガマニ キルシナムルティ (NICT)・
倉又朗人 (タムラ製作所)・増井建和 (光波)・
山腰茂伸 (タムラ製作所)・東脇正高 (NICT)

9日

1. 超高性能デジタルマイクロフォンセンサのための InP 基板への MEMS マイクロフォン作製プロセス ○藤野舜也・
水野雄太・高岡和央・森 雅之・前澤宏一 (富山大)
2. 真空アニール法が Al₂O₃/GaSb MOS 界面に与える影響
○後藤高寛・藤川紗千恵・藤代博記 (東京理科大)・
小倉睦郎・安田哲二・前田辰郎 (産総研)
3. Ga/Si(111)表面再構成構造を用いた Si(111)基板上 GaSb ナノ構造の形成
○町田龍人・戸田隆介・吉木主祐・
藤川紗千恵 (東京理科大)・原 紳介 (NICT)・色川勝己・
三木裕文 (東京理科大)・河津 璋 (東京電機大)・
藤代博記 (東京理科大)
4. InGaAs 2次元電子ガス 2層系におけるサブバンド輸送と量子ホール効果
○日高志郎・岩瀬比字麻・赤堀誠志・
山田省二 (北陸先端大)・今中康貴・高増 正 (物材機構)
5. GaAs 上の領域選択分子線成長による面内配向 InAs ナノワイヤの試作と電気的評価
○赤堀誠志・村上達也・
山田省二 (北陸先端大)
6. Si(111)上に Sb 再構成構造を利用して InSb の選択成長
○王 シン・森 雅之・前澤宏一 (富山大)

◎8日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

【問合先】

上田哲三 (パナソニック)

TEL [06] 6906-4940, FAX [06] 6906-2426

E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

葛西誠也 (北大)

TEL [011] 706-6509, FAX [011] 716-6004

E-mail: kasai@rciqe.hokudai.ac.jp

——関西支部における開催——

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 阪井和男 副委員長 佐良木 昌・近藤公久
幹事 久保村千明・黒田 航 幹事補佐 乾 孝司

日時 8月3日(土) 13:00~17:30

4日(日) 10:30~17:30

会場 関西学院大学大阪梅田キャンパス (大阪市北区茶屋町 19-19 アプローチタワー 1004. http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_001746.html 中野陽子)

議題 人間の言語処理と学習

3日

1. 日本人英語学習者の言語処理と言語運用能力—Versant English Test のスコアを中心に— ○原田康也 (早大)・
森下美和 (神戸学院大)
2. 中国人日本語学習者は語彙認知において逐次的に韻律情報を用いるか?—人工語彙を用いた視線計測実験—
○尹 帥・里 麻奈美・羅 穎芸・五十嵐陽介・
酒井 弘 (広島大)
3. 日本人英語学習者の文処理時における言語情報への敏感さに

熟達度が与える影響—事象関連電位測定実験による神経科学的検討—

○鳴海智之・長井千枝子・松本絵理子・

林 良子・横川博一 (神戸大)

4. 韓国語ソウル方言における文末上昇下降音調の語用論的機能—日本語の終助詞「よ」との比較を通して—

金 英周 (広島大)

5. 日本語の関係節処理における線形的距離の効果について

○柴田奈津美 (獨協大)・金 蘭・広瀬友紀 (東大)

6. [ポスター講演] 第二言語としての日本語における関係節曖昧構文の処理—トルコ人日本語学習者と日本語母語話者において—

○中野陽子 (関西学院大)・

バルシュ カフラマン (COM 大)

7. [ポスター講演] Reflexive interpretations in Turkish

○Baris Kahraman・Aydin Ozbek (COM Univ.)

8. [ポスター講演] 日本語と中国語の関係節の受身文産出—L1 と L1, L1 と L2 の比較を中心に—

○李 在鉉・

福原涼子・金 京怡・久保琢也・酒井 弘 (広島大)

9. [ポスター講演] 日本語を母語とする幼児の動詞語彙概念学習における言語的手がかり使用の発達

○坂本杏子 (玉川大)・佐治伸郎 (慶大/学振)・

今井むつみ (慶大)・酒井 弘 (広島大)

10. [ポスター講演] 日本語における主語・目的語関係節処理コストの再検討

○白 春花・広瀬友紀 (東大)

11. [ポスター講演] 韓国語属格主語節の統語構造—プロンディーと文法のインターフェイスからの探求—

金 英周・

五十嵐陽介・酒井 弘 (広島大)

12. [ポスター講演] 名詞句の類似性が語順の選択に与える影響—カクチケル語における検討—

○久保琢也 (広島大)・

小野 創 (近畿大)・田中幹大 (甲南女子大)・

小泉政利 (東北大)・酒井 弘 (広島大)

13. [ポスター講演] Lexical boost for syntactic priming in a head-final language is bound to the verb but not to pre-head constituents

○Ying Deng・Manabu Arai・

Yuki Hirose (Univ. of Tokyo)

14. [ポスター講演] 日本語受動文の産出における構造的プライミング効果—動詞の反復効果の観点からの検討—

○金 蘭・トウ エン・新井 学・広瀬友紀 (東大)

15. [ポスター講演] The Interpretation of Scalar Implicature—The Acquisition of English Focus Particle even—

Soyoung Kim (PKNU)

16. [ポスター講演] Binding and dependency length in gapless relative clauses

○Hajime Ono・Yu Ikemoto (Kinki Univ.)

4日午前

1. Optional Reanalysis in Relative Clause Association Ambiguity in Japanese

○Toshiyuki Yamada・

Yuki Hirose (Univ. of Tokyo)

2. 日本語文処理における left-corner parsing とワーキングメモリ—負荷研究—

○内田翔大 (東大)・宮本エジソン (筑波大)・

広瀬友紀・伊藤たかね (東大)

3. Competition and Generalization in English and Mandarin Relative Clause Processing—A Simple Recurrent Network—

○Yaling Hsiao・Maryellen MacDonald (UW-Madison)

4. How do advanced learners of English understand a complex scope ambiguity? —a case of negation and focus construction—

Yukiko Koizumi (Yamagata Univ.)

4日午後 (13:30~)

5. [招待講演] The effect of structural variations on dependency formation
Nayoung Kwon (Konkuk Univ.)
 6. Metaphorical Expressions of Anger and Happiness in Truku Seediq and English
Apay Ai-yu (National Dong Hwa Univ.)
 7. RC prediction based on the indirect syntactic cues in Korea
EunYoung Shin (Korea Univ.)
 8. Speech Perception Mirrors Speech Production: fMRI Evidence
Haeil Park (Myongji Univ.)
 9. A preliminary study on the development of referential strategies in child Japanese
Jun Nomura (Kyoto Women's Univ.)
 10. The production of causes and consequences in Japanese
Mikihiro Tanaka (Konan Women's Univ.)
 11. Temporal distance between the cause and the effect affects the reading of causality sentences—Eye-tracking evidence—
○Yingyi Luo・Manami Sato・Hiroumi Sakai (Hiroshima Univ.)
- ◆MAPLL2013 (Mental Architecture for Processing and Learning of Language 2013)

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 渡辺昌洋 副委員長 伊藤京子・松田昌史
幹事 井上智雄・渡邊伸行
幹事補佐 林 勇吾・小森政嗣・田中貴紘

日時 8月23日(金) 10:30~17:30
24日(土) 10:00~18:15

会場 立命館大学朱雀キャンパス(京都市中京区西ノ京朱雀町
1. JR及び地下鉄二条駅から徒歩5分. http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_suzaku_j.html TEL [075] 813-8137 林 勇吾(筑波大))

議題 コミュニティとコミュニケーション及び一般

23日午前 コミュニティ

1. 多相的コミュニケーション介入—精神医療コミュニティの再構成を促す実践理論に向けて—
○岡本雅史(立命館大)・高梨克也(京大)・榎本美香(東京工科大)・小谷 泉(CSコン)・山川百合子(茨城県立医療大)
2. 被災地復興を牽引する地域住民間のコミュニケーション活性化支援
○忽滑谷春佳・坂井田瑠衣・栗本美可子・諏訪正樹(慶大)
3. 融和的コミュニティを形成する〈モノ・自己・他者・場〉4項インタラクションの分析
榎本美香(東京工科大)

23日午後 招待講演(13:30~)

4. [招待講演] 未定 金子郁容(慶大)

言語・発達

5. 日常会話におけるオノマトペ使用—主観的使用頻度の地域差・使用状況・使用対象—
○平田佐智子(東大)・小松孝徳・中村聡史(明大)・秋田喜美(阪大)・澤井大樹(イアラボ)
6. コミュニケーション場面における責任帰属判断の発達—接触原理を中心に—
○石川勝彦(熊本県立大)・孟 ケンイ・橋彌和秀(九大)
7. 日本語と延辺朝鮮語における「依頼-拒絶-承諾」の談話展開について
張 雪梅(広島大)

身体性

8. 足踏みの自動的同期とコミュニケーションスキル
○永井聖剛(産総研)・本間元康(国立精神・神経医療研究センター)・熊田孝恒(京大)・長田佳久(立教大)
9. 他者の存在に気づくインタラクションとその過程
竹内勇剛(静岡大)

24日午前 多人数インタラクション

1. 集団討議における葛藤対処方略と自己肯定感
○阪田真己子・田中沙織・鈴木紀子(同志社大)
2. 話速変換環境における3人対話の順番交替分析
○斎藤博人・瀬戸洋紀・徳永弘子(東京電機大)・秋谷直矩(京大)・武川直樹(東京電機大)

エージェント

3. 感情の二重経路と海馬に着目した不気味の谷発生メカニズムのモデル化の試み
○田和辻可昌・村松慶一(早大)・小島一晃(帝京大)・松居辰則(早大)
4. 聴き手の非言語行動と印象評価の考察—高齢者を対象とした傾聴エージェントに向けて—
○澁澤紗優美・黄 宏軒(立命館大)・林 勇吾(筑波大)・川越恭二(立命館大)

24日午後 認知・感情(13:45~)

5. コミュニケーションを促すための感情状態を用いた記憶想起システムの提案と評価
○武田十季・熊野史朗・小笠原隆行・浦 哲也・小林 稔・定方 徹・田中智博(NTT)
6. 文字に汚染されない子供たち—視覚認知を応用したデジタルエスペラントの設計と、そのインターフェイスによる情報弱者ケア—
渡部好美(KBS)
7. プレゼントにおける主観的な価値づけ
○岸本励季・橋彌和秀(九大)

生体信号

8. 生体信号を利用したALS患者のYes/No意思伝達方法
○小澤邦昭・仙石淳子・内藤正美(東京女子大)・小幡亜希子・木戸邦彦(日立)・尾形 勇・金澤恒雄(エケル)
9. 映像撮影者の情動体験を記録・共有するための映像撮影システム
○代蔵 巧・棟方 渚・小野哲雄(北大)・児玉 敬・御子柴憲彦・山下昌哉(旭化成)
10. 会話・安静時におけるてんかん患者の交感神経機能の挙動
○棟方 渚・櫻井高太郎(北大)・児玉 敬・御子柴憲彦・山下昌哉(旭化成)

意思決定

11. 非ゼロ和ゲームにおけるコミュニケーションの発現
○祖父江翔太・伊藤 昭・寺田和憲(岐阜大)
12. 提示情報の質と量の制御による対話的意思決定への影響
○大本義正・笹倉隆史・周藤沙月・西田豊明(京大)

【問合先】

林 勇吾(筑波大)

E-mail: hayashi.yugo.gp@u.tsukuba.ac.jp

平山高嗣(名大)

E-mail: hirayama@is.nagoya-u.ac.jp

◎最新情報は、HCS研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~hcs/>

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 鷲見和彦 副委員長 柏野邦夫・黄瀬浩一
幹事 田中 宏・堀田政二 幹事補佐 島田敬士・井尻善久

★情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)

専門委員長 上田修功 副委員長 鷲尾 隆・樋口知之
幹事 杉山 将・井手 剛 幹事補佐 持橋大地・大羽成征

日時 9月2日(月) 9:30~18:30
3日(火) 9:30~17:15

会場 鳥取大学鳥取キャンパス工学部社会開発システム工学科棟
2階 21, 23 講義室(鳥取市湖山町南 4-101, アクセス:
http://www.tottori-u.ac.jp/dd.aspx?menuid=1799 キャンパス
マップ http://www.tottori-u.ac.jp/dd.aspx?menuid=1797
岩井儀雄)

議題 機械学習と視覚情報処理の接点, 及び, 社会テーマ: ハイ
リスク作業支援

2日午前 一般セッション1 (9:30~11:30)

PRMU-1. Study on illumination-insensitive face detection based
on normalization techniques ○Min Yao・
Hiroshi Nagahashi (Tokyo Inst. of Tech.)

PRMU-2. Study of Recognizing Spontaneous Facial Expressions
of a Person who Watches Web News Based on ASM and
Bayesian Network ○Chao Xu・Jun Ohya (Waseda Univ.)

3. 局所的線形埋め込みを用いた顔表情画像の感情次元当てはめ
の検討 坂本博康・王 楠 (九大)

PRMU-4. 個人差と個人内変動を分離した統計的顔形状モデル
小島真一 (豊田中研)

一般セッション2 (9:30~11:30)

IBISML-5. ホモトピー法を用いたロバストサポートベクターマ
シンの最適化法 ○鈴木真矢・小川晃平・
竹内一郎 (名工大)・杉山 将 (東工大)

IBISML-6. デルタ法による標準マハラノビス距離の簡便な補正
法の提案 小林靖之 (帝京大)

PRMU-7. エスコート分布と期待値 田中 勝 (福岡大)

PRMU-8. エントロピーと非加法性 田中 勝 (福岡大)

2日午後 特別講演1 (13:00~15:00)

IBISML-9. [招待講演] 機械学習におけるコストをめぐる話題
赤穂昭太郎 (産総研)

10. [招待講演] データ駆動型アプローチによる視線・視覚的注
意の推定 菅野裕介 (東大)

2日午後 テーマセッション (15:15~16:45)

PRMU-11. 映像閲覧行動の時空間ずれ構造モデルを用いた注視
点予測 ○米谷 竜・川嶋宏彰・松山隆司 (京大)

12. 顔方向の変化に着目した多人数視線推定システムの開発
高橋和希・竹村研治郎 (慶大)

13. A study on individual difference in visual saliency models
incorporating human visual field characteristics

Ye Binbin・Sugano Yusuke・Sato Yoichi (Univ. of Tokyo)

一般セッション3 (17:00~18:30)

14. Kalman-filter 予測を用いた特徴点マッチングと Mean-Shift
探索の統合による広域特徴点追跡 富安史陽・平山高嗣・
間瀬健二 (名大)

IBISML-15. Enhancing Probabilistic Appearance-Based Object

Tracking with Depth Information: Multiple Object Tracking
under Occlusion ○Kourosh Meshgi・Yu-zhe Li・

Shigeyuki Oba・Shin-ichi Maeda・Shin Ishii (Kyoto Univ.)

16. 映像からの歩行者の意図推定に必要な要因の検討
山添大丈・満上育久・八木康史 (阪大)

一般セッション4 (17:00~18:30)

PRMU-17. ワンショット高精細深度画像生成法 ○吉川友樹・
齊藤友彦・鷲見和彦 (青学大)

18. 協調的アルゴリズムによる自然物のステレオビジョン
福田保彦・元島晃伸・小栗 清・柴田裕一郎 (長崎大)

PRMU-19. Study of Structure-from-motion Based 3D Recon-
struction and Surface Mosaic ○Mengyao Duan・

Rong Xu・Jun Ohya (Waseda Univ.)

3日午前 CVIM コメント制度セッション (9:30~11:30)

1. Random Forest を用いた手形状推定と手の動きを考慮したハ
ンドスナップジェスチャ認識 吉永智明・寺田卓馬 (日立)

2. Tracklet 特徴量と Mean-Shift クラスタリングによる歩行者
流量推定方式の提案 米司健一・吉永智明・松原大輔・
額賀信尾 (日立)

3. 文書画像検索による対応テキスト抽出を用いた翻刻文校正支
援システム 服部雄輝・寺沢憲吾 (公立はこだて未来大)

4. 部分空間法の応用と魅力 堀田政二 (東京農工大)

午前 一般セッション5 (9:30~11:30)

PRMU-5. Solving Overfitting Problem for Viola-Jones Hand
Detector ○Shuqiong Wu・

Hiroshi Nagahashi (Tokyo Inst. of Tech.)

PRMU-6. 識別器の特徴抽出法としての再利用による新規デー
タセットへの適合法 ○坂東誉司・竹中一仁・

テヘラニ ホセイン・酒井 映 (アソ)

PRMU-7. 混合確率的主成分分析モデルに基づく特定物体認識
○高橋隆史 (龍谷大)・栗田多喜夫 (広島大)

PRMU-8. マルチモーダル情報の相互情報量に基づく異常検出
に関する研究 鎌田智恵 (東大)

3日午後 特別講演2 (13:00~15:00)

9. [招待講演] 人間の内部状態を顕在化する視覚的インタラク
ション 平山高嗣 (名大)

PRMU-10. [チュートリアル講演] レスキューロボットの環境
計測と認識技術 大野和則 (東北大)

一般セッション6 (15:15~17:15)

PRMU-11. 運転士訓練シミュレータにおける指差喚呼自動評価
システムの開発 ○阪口裕章・木村直哉・

林 健太郎 (三菱フジジョン)

PRMU-12. レシピのテキスト及び画像特徴の学習による画像か
らの素材・調理法の推定 ○数藤恭子・村崎和彦・

島村 潤・谷口行信 (NTT)

PRMU-13. ラベル間の階層構造を考慮した Web 画像アノテー
ション手法に関する研究 ○日高雅俊・郡司直之・

原田達也 (東大)

PRMU-14. Community Discovery in Social Network using a
LDA-based Network Clustering Approach

○Xiaojun Ma・Yukihiro Tsuboshita (FX)

一般セッション7 (15:15~17:15)

PRMU-15. 監視カメラシステムのための低解像度人体画像の超
解像に関する検討 ○西堀研人 (名大)・

高橋友和 (岐阜聖徳学園大)・出口大輔・井手一郎・

村瀬 洋 (名大)

16. 薄膜干渉の画像ベース BRDF 推定 小林由枝 (東大)・森本哲郎 (凸版印刷)・佐藤いまり (NII)・向川康博 (阪大)・池内克史 (東大)

17. 対応物体の3次元表現で行う SAD 計算の効果 中島達郎・田中雅也・小栗 清・柴田裕一郎 (長崎大)

PRMU-18. 変形を含む多視点深度画像からの三次元人体モデル生成法 ○金子直史・斉藤友彦・鷺見和彦 (青学大)

◆情報処理学会; コンピュータビジョンとイメージメディア研究会連催

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月3日(木), 4日(金) 幕張メッセ国際会議場 [締切済]
テーマ: 大規模データとパターン認識・メディア理解, 地球をとらえる, CEATEC 連携

12月12日(木), 13日(金) 三重大 [9月18日(水)] テーマ: 事象の監視・検出・解析, 安全・安心社会の実現, 若手からの情報発信

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

PRMU 研究会幹事宛

E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄

幹事 河村彰星・全 真嬉

日時 9月3日(火) 10:10~16:10

会場 鳥取環境大学本部講義棟2階27講義室(鳥取市若葉台北1-1-1. JR山陰本線: 因美線鳥取駅下車, バスターミナル8番乗り場から「若葉台」行きまたは「若桜行き」乗車, 「環境大学前」で下車(約20分). <http://www.kankyo-u.ac.jp/about/access/access/> 名古屋孝幸)

議題

1. An $O(n \log n)$ Algorithm for the Minimax Regret Sink Location Problem in Dynamic Path Networks with the Uniform Capacity ○Yuya Higashikawa (Kyoto Univ.)・Mordecai J. Golin (HKUST)・Naoki Katoh (Kyoto Univ.)

2. 順列バンディット問題における新しいUCB型アルゴリズム ○渡辺 僚・中村篤祥・工藤峰一 (北大)

3. Oracle Pushdown Automata, Nondeterministic Reducibilities, and the Hierarchy over the family of Context-Free Languages Tomoyuki Yamakami (Univ. of Fukui)

午後 特別企画 国際会議論文紹介(ICALP・MFCS) (13:30~)

4. A Pseudo-Polynomial Algorithm for Mean Payoff Stochastic Games with Perfect Information and a Few Random Positions Endre Boros (Rutgers Univ.)・Khaled Elbassioni (MPI)・Vladimir Gurvich (Rutgers Univ.)・

○Kazuhisa Makino (Kyoto Univ.)

5. Hardness of Classically Simulating Quantum Circuits with Unbounded Toffoli and Fan-Out Gates

○Yasuhiro Takahashi (NTT)・Takeshi Yamazaki・Kazuyuki Tanaka (Tohoku Univ.)

6. 帯域幅連続多重彩色の近似アルゴリズム ○小幡祐司・西関隆夫 (関西学院大)

7. 次数指定した最大正則誘導部分グラフ探索問題 朝廣雄一 (九州産大)・○江藤 宏 (九工大)・伊藤健洋 (東北大)・宮野英次 (九工大)

☆COMP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月18日(金) 名工大 [8月5日(月)]

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

河村彰星 (東大大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻)

〒113-8656 文京区本郷7-3-1

E-mail: kawamura@is.s.u-tokyo.ac.jp

——今後の予定——

★マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会 (MWP)

専門委員長 岩月勝美 副委員長 門 勇一・寶迫 巖

幹事 関根徳彦・戸田裕之 幹事補佐 川西哲也・米本成人

☆MWP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月29日(金) 鉄道総研 [9月8日(日)] テーマ: 次世代交通システムの動向, MWP 技術一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

川崎邦弘 (鉄道総研)

E-mail: kuni@rtri.or.jp

中村光範 (日産自動車)

E-mail: mitsu-nakamu@mail.nissan.co.jp

三木健一 (古河電工)

E-mail: miki@ie.inf.furukawa.co.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●情報ネットワーク科学研究会・複雑コミュニケーションサイエンス研究会合同ワークショップ

第2回情報ネットワーク科学 (NetSci) ワークショップ

委員長 会田雅樹 (首都大東京)

副委員長 中村 元 (KDDI)・成瀬 誠 (NICT)・

巴波弘佳 (関西学院大)

第2回複雑コミュニケーションサイエンス (CCS) ワークショップ

委員長 長谷川幹雄 (東京理科大)

副委員長 岡田 啓 (名大)・関屋大雄 (千葉大)

開催趣旨

情報通信技術は、私たちの生活や社会を支える最重要技術として目覚ましい発展を遂げてきました。それにつれて、大規模化かつ複雑化する情報通信技術の研究開発を支える学術的基盤の適応限界が広い範囲で意識されはじめ、これらの限界を超えた新たな基盤構築の必要性が世界的に認識されるようになってきました。そこで、このような問題意識を共有する、通信ソサイエティ「情報ネットワーク科学時限研究専門委員会 (NetSci)」と基礎・境界ソサイエティ・非線形理論とその応用 (NOLTA) サブソサイエティ「複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会 (CCS)」が、横断的で学際的な議論の場を持つべく、合同でワークショップを開催致します。

日時 平成25年8月9日 (金) 13:30~17:10

10日 (土) 9:00~15:05

会場 しんしのつ温泉たつぷの湯 (石狩郡新篠津村)

参加申込方法: 下記のページから申し込み下さい。

<http://www.ieice.org/~netsci/?p=1211>

札幌駅一会場の移動に専用バス (無料) を利用できます。

専用バス利用者は、8/9 12:00 に札幌駅集合、8/10 16:30

札幌駅解散となる予定です。宿泊、懇親会、専用バス等の御予約は、上記参加申込ページからお願いします。

参加費: 2,000円程度の予定

プログラム

9日

1. [招待講演] なめらかな社会における貨幣 鈴木 健 (東大)

2. [招待講演] 交通信号のネットワークダイナミクスとカオスボルツマンマシン 鈴木秀幸 (東大)

3. モバイルネットワーク上での情報伝播ダイナミクス 藤原直哉 (FIRST 合原最先端数理モデルプロジェクト, JST)

4. リンク重みに含まれるノイズがグラフにおけるノードの中心性指標に与える影響の解析 津川 翔 (筑波大)・大崎博之 (関西学院大)

5. 隠れ末端問題を考慮した無線マルチホップネットワークにおけるマルコフ遷移図を用いたスループット及び遅延解析 眞田耕輔・史 進・関屋大雄・阪田史郎 (千葉大)

6. ノードの移動の局所性がエピソードブロードキャストに与える影響 渡部康平 (阪大)・大崎博之 (関西学院大)

7. [基調講演] 大規模ネットワークの設計・モデル化・制御 大崎博之 (関西学院大)

10日午前

1. エネルギー散逸を考慮した多関節ロボットの数理モデルにおける自励周期運動の生成と周期外力による同期現象

安井 祥・紅林 亘・中尾裕也 (東工大)

2. Design of Basic Asynchronous Logic Circuits based on Noise-Assisted Threshold Logic Lizeth Gonzalez-Carabarin・

浅井哲也・本村真人 (北大)

3. 自励振動子の強い周期外力による同期現象の解析

紅林 亘・白坂 将・中尾裕也 (東工大)

4. 環境揺らぎを用いた Noise-Induced Synchronization の実機評価 本田悠貴・安田裕之・長谷川幹雄 (東京理科大)

5. ハイブリッドシステムにおける自励振動子にみられる同期現象の解析 白坂 将・紅林 亘・中尾裕也 (東工大)

6. 短距離リンクと長距離リンクを相補的に用いる無線センサネットワーク方式の検討 大島浩太 (埼玉工大)・

安藤公彦 (東京工科大)

7. [基調講演] コミュニケーションの基本原理解探から誕生する新しいサイエンスの可能性 II 梅野 健 (京大)

10日午後 (13:30~)

8. [招待講演] 大容量フォトニックネットワークのアーキテクチャ 長谷川 浩 (名大)

9. コグニティブ媒体アクセスのためのアーマイニンスパイアード・アルゴリズム II 金 成主 (物質・材料研究機構)・

青野真士 (東工大)

10. 電力ロスを最小化する電力配分厳密最適化手法の検討

中村亮太・大沼智幸・加藤智洋 (東京理科大)・

関屋大雄 (千葉大)・青野真士 (東工大)・

長谷川幹雄 (東京理科大)

11. 倍率情報下での最適な情報のコピーと実験による検証

守真太郎 (北里大)

◎最新情報は、研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~netsci/>

<http://www.ieice.org/~ccs/>

【問合先】

NetSci: 井上 武 (JST ERATO)・久保 健 (KDDI)・

作元雄輔 (首都大東京)・村山立人 (富山大)

E-mail: netsci-admin@mail.ieice.org

CCS: 長谷川幹雄 (東京理科大)・岡田 啓 (名大)・青野真士 (東工大)・関屋大雄 (千葉大)・中尾裕也 (東工大)

E-mail: ccs-kanji@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会、複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

●第6回光通信インフラの飛躍的な高度化に関する研究会

委員長 鈴木正敏 (KDDI 研)

副委員長 淡路祥成 (NICT)・宮本 裕 (NTT)・

盛岡敏夫 (デンマーク工大)

日時 平成25年8月22日 (木) 9:15~11:30

会場 北海道大学大学院情報科学研究科 A21 講義室 (<http://www.ist.hokudai.ac.jp/> http://www.ist.hokudai.ac.jp/facilities2/?floor_key=2)

テーマ 空間/モード分割多重伝送に関する国際動向報告とデバイス技術への取り組み状況報告

概要

光ファイバ通信における伝送容量の飛躍的な拡大を目的として、空間分割多重並びにモード分割多重を用いた新たな光伝送技術の研究開発が活発に行われています。日本は、マルチコア光

ファイバを中心とした空間多重光ファイバに関する研究開発を世界に先駆けて進めてきました。最近では、空間多重・モード多重用のデバイスの研究も活発に進められています。今回の研究会では、当委員会が技術協賛する二つの国際ワークショップの最新動向を報告頂きます。また、空間多重及びモード多重伝送における要素技術についても最新の研究状況を御紹介頂きます。多数の皆様のお参加をお待ちしております。

プログラム：

[招待講演] IEEE Summer Topicals 2013 "Space Division Multiplexing for Optical Communication" 報告

伊東俊治 (NEC)

[招待講演] OECC 2013 workshop "Future Perspective of Photonic Transport Network" 報告 森田逸郎 (KDDI 研)

[招待講演] 高次モード光源用多モード光干渉 (MMI) 導波路 浜本貴一 (九大)

[招待講演] モード多重伝送用導波路型モード合分波器 半澤信智 (NTT)

[招待講演] マルチコア伝送用光ファイバ増幅器 小野浩孝 (NTT)

参加資格 特に問いません。

参加費 一般 3,000円 学生 無料

参加申込 当日会場にて受け付けます。

◎最新情報は、光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会 (EXAT 研究会) のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~exat/>

◎本研究会に引き続き、8月22日午後、同一会場にて OFT/OCS 研究会が行われます。あわせての参加を御検討下さい。

【問合せ先】 幹事

福知 清 (NEC)

TEL [050] 3381-7623, FAX [044] 435-1096

E-mail : exat-contact@mail.ieice.org

主催 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会

●第15回フォトニックネットワークチュートリアル講演会

フォトニックネットワーク研究会は、PIF (超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会) と共催で、フォトニックネットワークチュートリアル (第二種研究会) を開催致します。今回は、シリコンフォトニクスの研究に携わる先生2名をお迎えし、御講演を頂きます。

日時 平成25年8月23日 (金) 14:00~17:00

会場 テレコム先端技術研究支援センター (SCAT) 5階会議室 (新宿区新宿1-20-2 小池ビル <http://www.scat.or.jp/scat/kotu.html>)

参加費 (テキスト代 別途 3,000円)

電子情報通信学会会員、PIF 会員、及び学生：無料。

一般：5,000円

定員 70名 (定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込み下さい。)

チュートリアル講演

1. CMOS 互換プロセスを用いたシリコンフォトニクスとナノフォトニクスの進展 馬場俊彦 (横浜国大)

2. シリコンフォトニクスを用いた高密度光配線技術 賣野 豊 (光電子融合基盤技術研究所 (PETRA))

参加申込 <http://www.scat.or.jp/photonic/>より事前登録のページに進み、お申し込み下さい。申込画面の説明にございますように、当日は登録時の入力画面をプリントアウトして御持参願います。多数の方の御参加をお待ちしております。

【問合せ先】

品田 聡 (NICT)

TEL [042] 327-5679, FAX [042] 327-7035

E-mail : sshinada@nict.go.jp

主催 フォトニックネットワーク研究専門委員会、超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会

●アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ (再開催第17回) —アンテナ基本測定技術—

アンテナ・伝播研究専門委員会無線端末・アンテナシステム測定技術研究会実行委員会委員長

新井宏之 (横浜国大)

アンテナ・伝播研究専門委員会では、関連する研究専門委員会と連携して、1994年度から第二種研究会として標記のワークショップを開催してきました。これは、アンテナ・伝播研究者及び技術者を主たる対象に、設計・解析の実力向上を図ることを目的とするもので、これまで46回のワークショップを実施し好評を頂いています。また、再開催の御要望にお応えするために、アンテナ・伝播研究専門委員会では、IEEE AP-S Japan Chapter、電子情報通信学会九州支部などと共催で再開催を行っており、これまで16回の再開催を実施致しました。今回は第17回として、アンテナ・伝播研究者や技術者を主たる対象に、「アンテナ基本測定技術」を開催します。本講義は、主に小形アンテナの開発者を対象とし、基礎的な測定技術と各種応用測定的手法、更に測定の実例の習得を目的とします。奮って御参加下さい。

なお、本ワークショップはアンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ「アンテナ基本測定技術」(第39回~41回)を、講師が出版されたテキストを用いて行う再開催となります。講師 石井 望 (新潟大)

講義内容 本講義では、以下の項目に沿って講習を進めます。

- (1) アンテナ測定の基礎
- (2) インピーダンス測定
- (3) 放射パターン・利得測定
- (4) 応用測定

日時 平成25年9月11日 (水) 10:00~18:00 (予定)

会場 産業技術総合研究所臨海副都心センター本館4F 第一・第二会議室 (江東区青海2-3-26. 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター駅」下車徒歩約5分。 <http://unit.aist.go.jp/waterfront/access/index.html>)

受講定員 80名

受講料

[テキスト有り]

一般/会員：12,000円、非会員：17,000円

学生 (大学院生も含む)/会員：5,000円、非会員：7,000円

[テキスト無し]

一般/会員：9,500円、非会員：14,500円

学生 (大学院生も含む)/会員：2,500円、非会員：4,500円

(1) テキストは「アンテナ基本測定法」(コロナ社、ISBN: 978-4-339-00822-7)を使用します。

なお、テキストは、当日、会場で配布致します。既にテキストをお持ちの方は「テキスト無し」でお申し込み下さい。

(2) 会員とは、電子情報通信学会または IEEE AP-S の会員を指します。

(3) 申込受付後、事務局から受講番号と受講料振込案内のメールをお送りしますので、それに従って受講料をお支払い下さい。

受講申込 7月1日(月)~8月30日(金)(予定)

(先着順; 満員になり次第締め切ります。)

受講申込方法

アンテナ・伝播研究専門委員会ホームページ掲載の受講申込書に記入の上、電子メールにて申し込んで下さい(郵送、電話申込不可)。

<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.php?ws/wsr17>

【受講申込先】

無線端末・アンテナシステム測定技術研究会実行委員会
事務局 関川晴子(産総研)

E-mail: amt-ml@aist.go.jp

【問合せ先】

無線端末・アンテナシステム測定技術研究会実行委員会
企画幹事 黒川 悟(産総研)

E-mail: ap_ac-amt_secretary@mail.ieice.org

主催 アンテナ・伝播研究専門委員会、産業技術総合研究所計測標準研究部門電磁界クラブ

協賛 IEEE AP-S Japan Chapter

直す研究

7) 電磁波伝搬(フェージングの問題等含む)の理論・モデリングの研究

8) レーザ, トモグラフィの計測分野で見られる非線形性, 更に信号レベルで現れる非線形ひずみ等の非線形性が本質となる諸問題

9) レーザ等の非線形デバイスと通信システムの界面

昨年度、韓国と日本で独自に進められている ICT に関わる複雑コミュニケーションサイエンス研究の情報交換を行い、交流を深める目的で、ソウル市内の漢陽大学にて合同ワークショップを開催し、盛況のもとに終了致しました。今後の韓国との継続的な連携、及び複雑コミュニケーションサイエンスに関わる更なる情報交換を目的とし、本年度は沖縄で合同ワークショップを開催することと致しました。

今回の研究会は上記複雑コミュニケーションサイエンスに関わる論文を広く募集し、挑戦的・萌芽的な研究、アイデア段階、研究途中の速報的発表なども歓迎致します。本研究会を通じて韓国と日本の研究者間で分野横断的に深い議論を行うことを目指します。また、韓国、日本双方から我々が取り組む新領域の先導的な研究者をお招きし、御講演頂く予定です。

期日 平成 25 年 10 月 17 日(木)~19 日(土)(投稿状況により期間短縮の場合もございます)

会場 沖縄県男女共同参画センター(那覇市西 3-11-1. <http://www.tiruru.or.jp>)

【発表申込】

発表申込締切 8月23日(金)(発表は英語での発表となります。)

原稿提出締切 9月20日(金)

参加費 一般 15,000 円程度, 学生 8,000 円程度

発表/参加申込

氏名(和文・英文), 所属(和文・英文), 連絡先, 発表される場合は題目(英文)をメールにて下記世話人まで御連絡下さい。参加費は、事前振込みにてお支払い下さい。銀行振込口座情報は、参加申込み後にお知らせ致します。

【参加申込・問合せ先】

関屋大雄(千葉大)・荒井伸太郎(香川高専)

E-mail: ccs-oct@mail.ieice.org

◎最新情報は、当研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/ess/ccs/>

主催 複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

●第 27 回多値論理とその応用研究会

座長 荒木智行(広島工大)

目的

半導体微細化技術の飛躍的な進歩が情報処理・通信システムの目覚ましい性能向上の原動力になってきたが、近年、微細化による LSI 性能向上の限界が次第に現実化しつつあり、それを打破すべく、デバイス・回路からアーキテクチャに及ぶ広い領域で様々な試みが精力的に研究されている。

「0」と「1」だけでは表現できない世界を考察する多値論理の歴史は古く、論理設計に利用されてきたほか、LSI の高速化、小チップ面積化に有効な手法として研究が進められてきたが、テクノロジーの限界が近づきつつある今、それを打破する新たな可能性を秘めた有力な手法の一つとして、多値論理が注目を集めている。例えば、冗長性を含む多値アルゴリズムは、特性変動が大きいデバイスを前提とするナノコンピューティングとの整合性が良

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第二回複雑コミュニケーションサイエンス研究会 (CCS) 日韓合同ワークショップ “2nd Korea-Japan Joint Workshop on Complex Communication Sciences”

委員長 長谷川幹雄(東京理科大)

副委員長 岡田 啓(名大)・関屋大雄(千葉大)

複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会 (CCS) は、情報通信技術 (ICT) の全ての階層、それを取り巻く情報通信環境、そして神経系や生物システム、更には人間のソーシャルコミュニケーションをも含めた広範な研究対象を扱い、そこにある現実的問題の本質、限界、そして、それらの背後に横たわる普遍的特質を明らかにするサイエンスの創出を目指します。「複雑コミュニケーションサイエンス」という標語は、こうした実用的・実体的システムにおける情報伝達とインタラクションのリアリティーにこそ、豊かなサイエンスへと成長する多くの芽が潜在しているはずであるという、我々の科学的直観を反映しています。

具体的には、下記の分野に芽生える新領域への取組みを計画しています。

- 1) 通信システムの理論
- 2) 分散ネットワークと分散アルゴリズムの理論
- 3) 通信システムの基盤としてのパワー、エネルギー的側面に關する基礎研究
- 4) 電力工学と通信システムの界面
- 5) 上記 4 領域と関連する実証的アプローチ、実システム上の諸問題
- 6) 通信システムの技術、知見から神経系、生体システムを捉え

第二種研究会開催案内、発表募集案内

告 23

く、革新的なナノアーキテクチャの実現につながる可能性がある。

本研究会は、多値論理研究会と共催で、論理学、数学、論理設計、フォールトトレラント、ファジー、人工知能等の側面から、また、デバイス、回路技術の観点から、多値論理の基礎とその応用について最新の研究成果を発表するとともに、分野の壁を越えた様々な研究者の間で意見交換と討論を行うことを目的としています。

期日 平成26年1月11日(土)、12日(日)

会場 鹿児島県文化センター(鹿児島市山下町5-3. TEL [099] 223-4221)

応募の資格 特になし

申込・原稿締切日

講演申込締切 10月11日(金)

原稿締切 11月29日(金)

【申込原稿送付先】

永山 忍(広島市大情報科学部情報工学科)
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3-4-1
TEL [082] 830-1599, FAX [082] 830-1568
E-mail : s_naga@hiroshima-cu.ac.jp

会場担当幹事

中原啓貴(鹿児島大大学院理工学研究科電気電子工学専攻)
E-mail : nakahara@eee.kagoshima-u.ac.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

共催 多値論理研究会

◎多値論理研究会のホームページ <http://mvl.jpn.org/>

複製される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体)と包括複製許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

複製以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail : info@jaacc.jp Fax : +81-33475-5619

● 2013年ソサイエティ大会開催案内 ●

本ソサイエティ大会は、基礎・境界、通信、エレクトロニクスの3ソサイエティが合同で開催する大会です。奮って参加されま
すようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2013年9月17日(火)～20日(金)
会 場 福岡工業大学(福岡市)
(会場構内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)
交 通 JR「福工大前駅」は構内に直結しており快速も停車。
福岡空港→(地下鉄5分)→博多駅→(JR 鹿児島本線
(快速)13分)→福工大前駅。

2013年ソサイエティ大会ホームページ
http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html

主なイベント内容：上記ホームページにて(7月上旬)公開予定
です。

◎聴講参加・冊子講演論文集予約申込みについては、上記から
Web登録をお願い致します。(7月4日公開)

※ソサイエティ大会に引続き団体・機関の図書館等の法人向けに
継続購入の申込募集を行います。法人には法人用DVDを大会
終了後、2週間後に御送付致します。

<予約申込期限>

8月15日(木) 締切厳守(電話による予約は不可)
事前予約されますと、予約物を9月3日～9月5日までに請求
書を同封して発送致します。

また、9月10日(火)までに予約物が届いていない場合には
必ず御連絡下さい。大会終了後では対応できない場合があります
(発送・請求関係連絡先：tk-tyoko@ieice.org)。

<予約のお勧め(DVD)>

大会講演発表の申込み・投稿の電子化、講演論文集・プログラ
ムのDVD化により、講演内容等の必要情報の入手が一段と便利
になります。聴講者におかれましても、是非このDVDの機能を
有効に活用するため、事前予約をお勧め致します。

御予約頂きますと、9月3日～9月5日までに索引機能を充実
したDVD(全講演・プログラム)を発送致しますので、聴講の
下調べ等にお役立て下さい。

なお、大会会場でも当日参加を受け付けておりますが、当日
DVDを活用する設備がございませんので、その旨御了承下さい。

◎ 聴講参加・冊子講演論文集予約について(予定)

<聴講参加>(本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)

☆2011年ソサイエティ大会から、学生の聴講参加費を値下げ致
しております。学生の皆様、奮って御参加下さい。

☆2010年総合大会から、事前聴講申込者に対する参加費の割引
制度を実施致しております。事前申込みの割引制度を御利用頂
くと当日申込みより2割引の参加費で大会聴講が可能となりま
す。御利用の上、奮って御参加下さい。

[事前申込み(DVD含む)]

会 員 名誉員・正 員	8,000 円
学生員(DVD購入)**	2,400 円
60歳以上の会員***	2,400 円
非会員 社会人	16,000 円
学生(DVDなし)	2,400 円

学生(DVD購入)	4,800 円
[当日申込み(DVD含む)]	
会 員 名誉員・正 員	10,000 円
学生員(DVDなし)*	無料
学生員(DVD購入)**	3,000 円
60歳以上の会員***	3,000 円
非会員 社会人	20,000 円
学生(DVDなし)	3,000 円
学生(DVD購入)	6,000 円

※凡 例

* DVDを必要とされない「学生員」は無料で聴講できますの
で事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂
ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きます
ので御持参下さい。)

** 会場で会員証を提示して下さい。

***年金以外の収入がない方が対象となります。

[法人価格申込み]

1. DVD1枚(合本付)	90,000 円
2. DVD1枚	60,000 円

☆この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。

☆電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の
会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いと
なります。

<冊子講演論文集>

論文集の内容は多少変わることもございますので、御了承下
さい。冊子講演論文集は、予約部数に基づいて論文集を作成して
おりますので、予約期限を過ぎますとお求めになれない場合に
ありますので、くれぐれも御注意下さい。

(発行日：平成25年9月3日/価格は消費税込み)

各分冊講演論文集の内容・価格については、上記ホームページを
御覧下さい(7月4日公開)。

<支払方法>

予約物に同封して請求・納品・見積・振込用紙をお送り致し
ますので御利用頂き、送金をお願い致します(振込先口座等は請求
書に記載)。

申込みの問合せ先

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
電子情報通信学会 大会担当
TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659
E-mail : taikai@ieice.org
発送・請求の問合せ先 E-mail : tk-tyoko@ieice.org

今回のソサイエティ大会では男女共同参画委員会の活動の一環
として予約・有料制の託児所を開設します。詳細は下記URLに
案内を掲示しますので御利用下さい。

(http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html) (8月上旬を予定)

FIT(情報科学フォーラム)2013の開催案内は下記を御覧下さい。
<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/index.html>

FIT2013 第 12 回情報科学技術フォーラム開催の御案内

FIT2013Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/>

電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ, ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋にFIT(Forum on Information Technology)を開催しており, 2013年9月には第12回目を鳥取大学で開催致します。皆様、奮って御参加下さい。

会期: 2013年9月4日(水)~6日(金)
 会場: 鳥取大学鳥取キャンパス(鳥取市湖山町南4-101)
 交通: 鳥取空港からタクシー約5分, 徒歩約30分。
 鳥取駅から山陰本線で約10分, 鳥取大学前駅下車徒歩3分。
 鳥取駅前北口バスターミナルからバスで約30分, 「鳥大」下車すぐ, または「鳥商前」下車徒歩5分。
 ※鳥取空港~鳥取大学間は, 航空便ダイヤにあわせてシャトルバスを運行予定 約10分(詳細はFIT2013Webサイトに掲載)
 ※お車(自家用車)での御来場は御遠慮下さい。
 共催: 鳥取大学
 協賛: とっとりコンベンションビューロー, 鳥取市観光コンベンション協会
 総合受付: 共通教育棟 A 棟 1F 語学シャワー室
 受付時間: 8:30-16:30 (6日のみ15:00まで)

■聴講参加費(税込)

参加区分	参加費
会員	10,000円(プログラム・参加章・DVD-ROM)
非会員	20,000円(プログラム・参加章・DVD-ROM)
学生	無料(プログラム・参加章)

※会員, 非会員, 学生の参加区分の区別は以下のとおりです。
 会員: 電子情報通信学会, 情報処理学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEEK, APSIPA, ECIT, IEEE/ComSoc, KICS, VDE/ITG, KIEES, CIC, IEEE/PHO, IEEE/MTT-S, IEEE/CS, KIISE)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM, IEEE, IEEE/CS, KIISE, CSI)の個人会員に限ります。
 非会員: 上記の学会会員以外で学生以外の方。
 学生: 会員/非会員を問わず無料(DVD-ROMは付きません)。社会人学生の方も, 学生証を総合受付で呈示頂ければ無料です。

■開催イベント企画 [予定]

今回のFITでは以下の講演会, パネル討論等のイベント開催を予定しております。(詳細は逐次FIT2013 Webサイトに掲載致します)
 ◎船井業績賞受賞記念講演
 5日14:00-15:15 第1イベント会場(共通教育棟 A 棟 2F A20)
 「Rubyが成し遂げたこと」
 まつもとゆきひろ(Rubyアソシエーション理事長)
 ◎FIT学術表彰式
 5日13:00-13:50 第1イベント会場(共通教育棟 A 棟 2F A20)
 ◎イベント企画
 第1イベント会場(共通教育棟 A 棟 2F A20)
 4日 9:30-12:00 国際情勢の変化から見るサイバー攻撃—その本質を探る—
 13:00-15:00 第2回統一的評価基準に基づく電子透かしコンテンツ—チャレンジングな評価基準を超えられるか—
 15:30-17:30 身近になったライフログ
 5日13:00-13:50 FIT学術表彰式
 14:00-15:15 船井業績賞受賞記念講演
 15:30-17:30 ビッグデータ時代到来!—ウェブ最先端企業が最新動向を語る—
 6日 9:30-12:00 環境問題とサイバースペース—身近な問題にどうやって取り組むか—
 13:00-15:00 映像符号化の最新動向—HEVC標準化—

第2イベント会場(共通教育棟 C 棟 2F C21)
 4日 9:30-12:00 人文科学における時空間情報の活用
 13:00-15:00 ビッグデータ時代のオンライン学習アルゴリズム
 15:30-17:30 受賞者フォーラム: メディア認識・理解の最前線と若手へのメッセージ
 5日10:00-12:00 ICTにおける産業界が望むヒューマンリソース—ICTの将来を担うキャリアを究める—
 15:30-17:30 ソーシャルメディアの分析—経済物理学, 数理モデルの観点から—
 6日 9:30-12:00 学びを科学する: MOOCsでCloudなBig DataをLearning Analytics!
 13:00-16:00 基礎理論が導く最先端技術: 計算限界解明への取り組みと超高速アルゴリズム開発

■懇親会 [予定]

開催日時: 9月5日(木)18:45~20:45
 会場: ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間(東)
 参加費(税込): 社会人 5,000円, 学生 2,000円
 一般講演座長または査読者 3,000円
 ※FIT会場から懇親会場への移動はシャトルバスを運行予定

■冊子講演論文集・DVD-ROM 販売価格(税込)

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集分冊	12,000円	15,000円
講演論文集DVD-ROM	8,000円	55,000円

※会場販売は残部のある限りとなりますので, あらかじめ御了承下さい
 ※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊(カバー付き), DVD-ROM
 ※分冊は第1~4分冊の予定
 ※DVD-ROMはプログラム(講演者索引付き)及び全講演論文収録
 ※学生の方は, 会場にてDVD-ROM 学割会場販売価格4,000円

■講演論文集の掲載分野(予定分冊構成)

第1分冊: モデル・アルゴリズム・プログラミング, ソフトウェア, ハードウェア・アーキテクチャ
 第2分冊: データベース, 自然言語・音声・音楽, 人工知能・ゲーム, 生体情報科学
 第3分冊: 画像認識・メディア理解, グラフィクス・画像, ヒューマンコミュニケーション&インタラクション, 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
 第4分冊: ネットワーク・セキュリティ, ユビキタス・モバイルコンピューティング, 教育・人文科学, 情報システム
 DVD-ROM: 上記全論文とプログラムを収録
 (著者, 所属, キーワードによる索引付き)
 ※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

■問合せ (FIT2013 幹事学会)

〒101-0062 千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 一般社団法人情報処理学会事業部門
 TEL [03] 3518-8373, FAX [03] 3518-8375
 E-mail : jigyo@ipsj.or.jp

■次年度のFIT2014開催

2014年9月 筑波大学にて開催予定

● 支 部 大 会 ●

——平成 25 年度（第 64 回）電気・情報
関連学会中国支部連合大会——

日 時 平成 25 年 10 月 19 日（土） 9：00～17：00
 会 場 岡山大学（岡山市北区津島中 1-1-1）
 聴講料 無料（多数の聴講をお待ちしています。）
 一般講演 時間 9：00～12：00, 14：00～17：00
 内容 最近行った研究、計画及び工事報告、現地試験
 報告、新製品紹介等
 会場 一般教育棟 B, C, D, E 棟
 特別講演 午後一般講演の前に、特別講演を行います。
 時間 13：00～13：45
 演題 「酸化鉄材料の新展開—備中吹屋ベンガラから
 微生物由来酸化鉄まで—」
 講演者 高田 潤（岡山大）
 会場 一般教育棟 A 棟 A21（定員 300 名）
 懇親会 講演終了後、参加されました皆様の親睦と交流を深める
 ため、懇親会を開催します。多数の皆様の御参加をお願い
 致します。
 時間 17：20～19：00
 会場 岡山大学生協ピーチユニオン（津島キャンパス内）
 会費（事前予約）一般 3,000 円 学生 500 円
 （当日受付）一般 3,500 円 学生 1,000 円
 ※会費は当日、大会総合受付にてお支払い下さい。

事前予約：大会 HP <http://rentai.ccsv.okayama-u.ac.jp/> からお
 申込み下さい。〔締切日 10 月 11 日（金）〕

交通案内 学内には駐車場がありませんので、公共交通機関の御
 利用をお願いします。

JR 岡山駅：岡電バスを利用

・岡山駅西口バスターミナル 22 番乗り場から【47】系
 統「岡山理科大学」行きに乗車、「岡大入口」、「岡大
 西門」、「福居入口」または「岡大東門」で下車 ※所
 要時間約 7～10 分

・岡山駅東口バスターミナル 3 番乗り場から【17】系
 統「妙善寺」行に乗車、「岡大東門」、「岡大西門」または
 「福居入口」で下車 ※所要時間約 30 分

・西口広場 2F タクシー乗り場から約 7 分

JR 津山線「法界院」駅：徒歩約 10 分

大会全般に関する問合せ先：

電気・情報関連学会中国支部連合大会実行委員会

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

岡山大学大学院自然科学研究科（担当：塚田啓二）

rentai@cc.okayama-u.ac.jp（お問合せはできるだけメールに
 てお願いします。）

TEL & FAX [086] 251-8129

主 催 電気・情報関連学会各中国支部（電子情報通信学会・電
 気学会・照明学会・映像情報メディア学会・情報処理学
 会・電気設備学会）

——各種証明、閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では、各種の証明、閲覧について、下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお、突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので、必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は、TEL [03] 3433-6692

種 類	内 容	料 金（税 込）	備 考
証明手数料	特許証明	会 員 200 円/件 非会員 500 円/件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会 員 無 料 非会員 300 円/冊 コピー 10 円/枚	料金は 1 冊（綴）ごととします。

（注）会員からの依頼で非会員が代行される場合は、非会員の料金となります。

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

——北陸支部——

●平成 25 年度第 1 回学生講演会

日 時 平成 25 年 8 月 3 日 (土) 14:00~17:00
 会 場 金沢工業大学 14-320 教室 (野々市市扇ヶ丘 7-1)
 演 題 (1) 高周波整流回路の最適負荷と電力効率の理論式
 大平 孝 (豊橋技科大)
 (2) マイクロ波 IC における整合(狭義と広義)の基礎
 徳満恒雄 (住友電工)

参加費 無料
 参加資格 会員以外の方も入場できますが、事前の参加申込みが必要です。
 詳しくは北陸支部 HP: <http://www.ieice.org/hokuriku/> を御覧下さい。
 問合先 金沢工業大学工学部電気系 伊東健治, 野口啓介
 TEL [076] 248-1100
 itoh.kenji@neptune.kanazawa-it.ac.jp
 noguchi@neptune.kanazawa-it.ac.jp
 主 催 電子情報通信学会北陸支部
 共 催 IEEE MTT-S Nagoya Chapter
 協 賛 金沢工業大学 電気・光・エネルギー応用研究センター
 第二期プロジェクト第二グループ, 琉陸会 (金沢工業大学・電気系同窓会)

——関西支部——

●電気四学会関西支部専門講習会「雷害対策のための風力発電設備接地システム」

風力発電や太陽光発電に代表される再生可能エネルギーは、二酸化炭素排出量が少なく、地球温暖化対策として期待されています。取り分け風力発電は再生可能エネルギーの中でも最も大きな発電容量であり、ウィンドファームと呼ばれる大規模な風力発電も各所で見られるようになりました。最近では、ブレード先端地上高が 100 m を超える大形風車が主流となっており、雷による被害を受けやすく、雷害により長期の運転停止状態に至ることも多いため、雷に対する合理的な耐雷設計手法・雷害対策手法の確立が喫緊の課題となっております。また、風力発電における耐雷設計については、我が国では特異な雷である冬季雷も対象となることから課題が多い現状にあります。

技術報告書では、その中でも最も基本的な接地について風力発電と関連させて調査した結果と風力発電の耐雷設計・雷害対策に関する基本的な考え方について述べております。また、雷電流に対する風力発電システムの接地の特性に関する測定・シミュレーション結果を示し、風力発電で採用されているような低い接地抵抗であっても高周波成分を含む雷電流に対しては、過渡特性により雷過電圧が高くなることを明らかにしております。更に、今後の風力発電設備における合理的な雷害対策手法を確立するために必要とされる接地システムの研究課題についても提言しております。

本講習会では、風力発電設備だけでなくその他の電気設備の接地についても広く紹介致します。奮っての御参加をお待ちしています。

日 時 平成 25 年 9 月 5 日 (木) 13:30~17:00
 会 場 中央電気倶楽部 215 号室 (大阪市北区堂島浜 2-1-25
<http://www.chuodenki-club.or.jp/> を御覧下さい。堂島

地下街南詰を右側に上がり、右へ約 50 m, 左側のレンガ造りの建物)

題目と講師 (司会) 佐藤智之 (東北電力)
 (1) 開講の挨拶 電気学会関西支部支部長
 (2) 雷害対策に関する基本的考え方 本庄暢之 (電源開発)
 (3) 雷害対策に関連した接地の基本 安田 陽 (関西大)
 (4) 風力発電設備雷害事例 夏野大輔 (東洋設計)
 (5) 接地インピーダンス測定とその検証 山本和男 (中部大)
 (6) 雷害対策における接地 柳川俊一 (昭電)
 (7) 独立避雷塔による雷遮蔽 阪田 正 (きんでん)
 (8) 風力発電設備の接地に関する課題 関岡昇三 (湘南工科大)

(9) 質疑応答
 (10) 閉講の挨拶 電気学会関西支部総務企画幹事

参加費 (テキスト代別):
 主催・協賛学会 会員 4,000 円, 准員 1,500 円 (会員不課税), 会員外 5,000 円 (会員外消費税込み), 学生無料
 テキスト 電気学会技術報告第 1270 号「雷害対策のための風力発電接地システム」(冊子価格: 会員 2,856 円, 一般 3,570 円・PDF 価格: 会員 4,284 円, 一般 5,355 円 (税込)) を使用します。希望者には特別価格 (2,600 円 (税込)) で頒布致します。テキストが必要な方は 8 月 22 日 (木) までに事前にお申込みをお願い致します。はがきは締切日必着でお願いします。Web 申込みではテキストの要否欄に「要」を、はがき/FAX/E-mail には、「テキスト希望」と書いて下さい。テキストは当日お渡し致します。

定 員 40 名程度
 申込方法 電気学会関西支部 HP (<http://www2.iee.or.jp/ver2/kansai/>) からお申込み下さい。はがき、FAX または E-mail による申込みの場合、講習会題目、開催日、会員種別、氏名、連絡先 (会社あるいは学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号) 並びにテキストの要否を、下記の申込先まで御連絡下さい。後日、参加章と請求書をお送りします。なお、お知らせ頂きました個人情報 は、行事の運営に必要な場合のみに使用致します。
 申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
 中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター
 TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
 denki4g@ares.eonet.ne.jp
 主 催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部
 協 賛 日本風力エネルギー学会

●電子情報通信学会関西支部 学生「見学会・講演会」

下記のとおり、学生見学会・講演会を開催しますので、多数御参加下さい。

日 時 平成 25 年 9 月 12 日 (木) 13:15~16:30 頃
 対 象 大学院, 学部, 高専の学生 (学年不問)
 ※非会員学生も参加可能です。
 見学会テーマ: 「テレビ放送施設の見学と技術講演会を通して、放送技術に関する知見を高める」
 見学先 読売テレビ放送本社ビル (大阪市中央区城見 2-2-33)
 行 程 13:30 読売テレビ放送本社ビル 見学
 15:00 講演会
 16:30 頃 現地で解散

講演会 放送技術に関する講演を予定
集合場所 JR 京橋駅 南口前（詳細は参加者に改めて御連絡致します）

<http://www.jr-odekake.net/eki/map.php?id=0610511>

集合時間 13:15（集合後移動しますので時間厳守、晴雨不問）

見学人数 定員 40 名（申込先着順、定員になり次第締切）

参加費 無料

申込方法 電子メールにて、件名を「学生見学会講演会申込」とし、下記の必要事項を記載の上、お申込み下さい。

【平成 25 年 8 月 12 日（月）締切】

(a) 氏名 (b) 学校名 (c) 専攻または学科名
(d) 学年 (e) 電話番号

申込先 学生会幹事長 佐々木 慧（同志社大学大学院理工学研究科）dum0345@mail4.doshisha.ac.jp

主催 電子情報通信学会関西支部学生会

●電気四学会関西支部講演会「農業への ICT（情報通信技術）活用の可能性」

TPP 加盟による競争環境の激化、少子高齢化による労働力・内需の縮小など、強い農業実現に向けた ICT 適用の期待は近年非常に大きくなっており、スマート農業、ビッグデータ、六次産業化、農業クラウド、植物工場などのキーワードが目立っており、その達成には ICT の導入が前提とされています。具体的には、省力化や生産コストの低減に加えて、農産物の生育期間の短縮、品質の改善、自動化、そして配送スケジュールの最適化による配送時間の短縮化や電子商取引での新しい流通システムの開拓などが期待されており、様々な取組みが始まっています。

本講演会では、大学での植物工場・施設園芸をはじめとする農業生産高度化に対する取組み、及び植物体内の時計遺伝子をレーザー光で刺激して有用代謝物質を産生し高機能性作物を育成する技術、並びに日本の成長戦略「農業・農村の所得倍増」の施策に対し、ICT 利活用による既存施設に最小限の投資で労働の省力化と収量拡大を同時に行う仕組みへの取組みについてもお話し頂ける予定です。奮って御参加下さい。

日時 平成 25 年 9 月 13 日（金） 14:00～17:00

会場 中央電気倶楽部 513 号室（交通等前掲参照）

講師・題目

- (1) 開講の挨拶 電子情報通信学会関西支部
- (2) 人工光型植物工場の近未来技術 村瀬治比古（阪府大）
- (3) 施設植物生産のスマート化に向けた ICT 活用の可能性 星 岳彦（近畿大）
- (4) ICT 利活用による養液土耕システムの研究開発 佐々木伸一（ルートレック・ネットワークス）
- (5) 閉講の挨拶 電子情報通信学会関西支部

聴講料 無料

定員 80 名（定員になり次第、締め切らせて頂きます）

申込方法 電子情報通信学会関西支部の HP (<http://www.ieice.org/kansai>) からお申込み下さい。なお、はがき、FAX、E-mail でも受け付けますので、講習会題目、開催日、会員種別、氏名、連絡先（会社、学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号）を下記の申込先まで御連絡下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25

中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534

denki4g@ares.eonet.ne.jp

講演会・講習会・学術研究集会等

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

———四国支部———

●四国支部専門講習会「Android 入門講座」

日時 平成 25 年 8 月 31 日（土） 13:00～17:00

9 月 1 日（日） 10:00～17:00

会場 香川高等専門学校高松キャンパス電気情報工学科棟 1F 計測制御実験室（高松市勅使町 355 ※ HP の学校案内を御覧下さい。 <http://www.kagawa-nct.ac.jp/>）

対象 Java 言語がある程度できる方で、Android プログラミングは初心者の方。

- 内容 (1) Android 開発環境の構築
(2) Android 開発の基礎
(3) 実習（NFC を使った簡単な占いアプリ）

講師 Tam (GDG Shikoku), 横山隆司 (GDG Chugoku)

受講料 電子情報通信学会会員（入会申込み中含む）及び学生は無料、非会員は 3,000 円

定員 先着 16 名

申込期限 平成 25 年 8 月 9 日（金）

申込方法 下記の Web ページからお申込み下さい。

http://www.kagawa-nct.ac.jp/cgi-bin/event_form/form.cgi?target_no=9

問合せ 〒761-8058 高松市勅使町 355

香川高等専門学校電気情報工学科 柿元 健

TEL [087] 869-3908 kakimoto@t.kagawa-nct.ac.jp

主催 電子情報通信学会四国支部

———本会・ソサイエティ・グループ・

研究専門委員会等主催・共催———

●平成 25 年度工学教育連合講演会「工学士に期待される学士力とその養成」

「学士力」は、学士課程を修了した者が専攻や学部・学科にかかわらず身につけるべき能力として、6 年前に文部科学省中央教育審議会により提示されました。学士力には、多文化・異文化に関する知識の理解、コミュニケーションスキル、情報リテラシー、論理的思考力、チームワーク、リーダーシップなど、社会人として要求される素養を多分に含んでいます。本講演会では、産官学の 3 者の講演を通じて、学士力とは何か、学士力として求められる具体的能力は何か、学士力をどのように評価すればよいかなど、工学分野における学士力養成に対する取組みについて情報の共有と様々な角度からの議論を行います。産業界、教育界など多くの教育者・研究者の方々に御参加頂き、意見交換を行う場となれば幸いです。

日時 平成 25 年 10 月 25 日（金） 13:00～18:00（受付開始 12:30）

会場 芝浦工業大学芝浦校舎 8 階 802 教室（港区芝浦 3-9-14, JR 山手線・京浜東北線「田町駅」芝浦口から徒歩 3 分、都営地下鉄三田線・浅草線「三田駅」から徒歩 5 分。

http://www.shibaura-it.ac.jp/about/campus_shibaura.html）

議題 ・開会挨拶 田中良明（講演会実行委員長、早大）

1. 特別講演「学士力について（仮）」

文科省講演者調整中

2. 特別講演「社会人基礎力について(仮)」

奈須野 太(経産省)

事例発表

1. 日本鉄鋼協会「日本鉄鋼協会における学生人材育成への取り組みについて(仮)」 小島 彰(日本鉄鋼協会)
2. 日本化学会「化学分野における産学連携人材育成の現状と課題(仮)」 宇山 浩(阪大)
3. 情報処理学会「工学士に必要なデザイン能力を育成するためのプログラミング教育」 大岩 元(相愛大)
4. 電気学会「日立が期待する人材像(仮)」 鈴木啓司(日立)
5. 日本工学教育協会「効果的な人間力育成教育の枠組みとその実施法(仮)」 工藤一彦(日本工学教育協会)

・閉会挨拶 塩原亮一(講演会実行委員, 日立)

定員 200名(先着順)

参加費 ・事前申込み・振込み

主共催学協会会員:2,500円, 非会員:3,000円(資料代を含む)

・当日支払

主共催学協会会員:3,000円, 非会員:3,500円(資料代を含む)

申込方法 事前に日本工学教育協会HPからお申込み下さい(8月12日から開始予定)。参加費は下記の指定口座にお振込み頂くか、当日受付にてお支払い下さい。

振込先 三井住友銀行三田通支店(普通) 6867655

口座名:(社)日本工学教育協会連合口

※お振込みの場合は、日工教から領収書は発行できません。請求書が必要な方は別途御連絡下さい。

申込先 工学教育連合講演会事務局:日本工学教育協会
〒108-0014 港区芝5-26-20 建築会館4階 担当 川上
TEL〔03〕5442-1021, FAX〔03〕5442-0241
kawakami@jsee.or.jp <https://www.jsee.or.jp/>

主催 日本工学教育協会

共催 電子情報通信学会(幹事)(以下五十音順) 化学工学会, 計測自動制御学会, 資源・素材学会, 自動車技術会, 情報処理学会, 精密工学会, 繊維学会, 電気学会, 土木学会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本教育工学会, 日本金属学会, 日本経営工学会, 日本原子力学会, 日本建築学会, 日本工学会, 日本設計工学会, 日本セラミックス協会, 日本鉄鋼協会

後援 文部科学省, 経済産業省, 国土交通省, 厚生労働省, 日本学術会議(依頼中)

協賛 日刊工業新聞社, 日本工学アカデミー, フジサンケイビジネスアイ(依頼中)

特別共催 芝浦工業大学

——本会が協賛等のもの——

(※は参加費割引あり)

「筆で塗れる電子回路-新しいナノインクが変える半導体デバイス技術」-常温導電性金属微粒子とプリンタブルエレクトロニクスへの応用-

期日 平成25年8月7日(水)

会場 かながわサイエンスパーク(川崎市)

問合せ 神奈川科学技術アカデミー教育研修グループ 高木
TEL〔044〕819-2033, FAX〔044〕819-2097
takagi@newkast.or.jp

2013年度夏休み科学教室

期日 平成25年8月9日(金)

会場 明治大学生田キャンパス(川崎市)

問合せ 明治大学理工学部 佐野・西井
TEL〔044〕934-7576, sst@mics.meiji.ac.jp
<http://www.meiji.ac.jp/sst/>

第15回組込みシステム技術に関するサマーワークショップ(SWEST15)

期日 平成25年8月22日(木), 23日(金)

会場 下呂温泉 水明館(下呂市)

問合せ SWEST 実行委員会事務局(TOPPERSプロジェクト内) 担当 横井・根来
TEL & FAX〔03〕3865-5616
secretariat15@swest.toppers.jp

第1回LED(Learning Embedded software Design) Camp

期日 平成25年8月20日(火)~22日(木)

会場 下呂温泉 山形屋(下呂市)

問合せ SWEST 実行委員会事務局(TOPPERSプロジェクト内) 担当 横井・根来
TEL & FAX〔03〕3865-5616
secretariat15@swest.toppers.jp

第18回知能メカトロニクスワークショップIMEC2013(※)

期日 平成25年8月27日(火), 28日(水)

会場 香川県産業技術センター(高松市)

問合せ 香川大学工学部 林純一郎
TEL〔087〕864-2328
jun@eng.kagawa-u.ac.jp <http://imec.itlab.org/>

平成25年度高専女子フォーラム in 関西

期日 平成25年8月30日(金)

会場 新大阪丸ビル別館(大阪市)

問合せ 奈良工業高等専門学校 担当 総務課 端無・中村
TEL〔0743〕55-6013, FAX〔0743〕55-6019
s-soumu@jimu.nara-k.ac.jp
<http://www.nara-k.ac.jp/>

平成25年度電気学会基礎・材料・共通部門大会

期日 平成25年9月12日(木), 13日(金)

会場 横浜国立大学(横浜市)

問合せ 電気学会事業サービス課 基礎・材料・共通部門大会担当 山本
TEL〔03〕3221-7313, FAX〔03〕3221-3704
yamamoto@iee.or.jp
<http://www2.iee.or.jp/ver2/fms/sys/02-conference/01-12.html>

第23回インテリジェント・システム・シンポジウム(FAN2013)(※)

期日 平成25年9月25日(水), 26日(木)

会場 九州大学医学部百年講堂(福岡市)

問合せ 電気学会事業サービス課 猿渡
TEL〔03〕3221-7313, FAX〔03〕3221-3704
sawatari@iee.or.jp
<http://cig.ees.kyushu-u.ac.jp/~FAN2013/index.html>

第 128 回技術講習会「音響・振動における FDTD 法の基礎と応用」講習会 (※)

期 日 平成 25 年 10 月 22 日 (火), 23 日 (水)
会 場 東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)
問合先 日本音響学会事務局
TEL [03] 5256-1020, FAX [03] 5256-1022

トライボロジー会議 2013 秋福岡 (※)

期 日 平成 25 年 10 月 23 日 (水)~26 日 (土)
会 場 アクロス福岡 (福岡市)
問合先 日本トライボロジー学会事務局
TEL [03] 3434-1926, FAX [03] 3434-3556
http://www.tribology.jp

「図解による光学入門」技術講座 (※)

期 日 平成 25 年 10 月 24 日 (木), 25 日 (金)
会 場 機械振興会館別館 (東京都港区)
問合先 日本オプトメカトロニクス協会
TEL [03] 3435-9321, FAX [03] 3435-9567
info@joem.or.jp http://www.joem.or.jp

第 129 回技術講習会「立体音響技術」講習会 (※)

期 日 平成 25 年 10 月 30 日 (水)
会 場 東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)
問合先 日本音響学会事務局
TEL [03] 5256-1020, FAX [03] 5256-1022

第 130 回技術講習会「Praat による音声加工と知覚実験の実施法」講習会 (※)

期 日 平成 25 年 10 月 31 日 (木), 11 月 1 日 (金)
会 場 東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)
問合先 日本音響学会事務局
TEL [03] 5256-1020, FAX [03] 5256-1022

システム・情報部門学術講演会 2013 (SSI2013)「変わる SSI」(※)

期 日 平成 25 年 11 月 18 日 (月)~20 日 (水)
会 場 ピアザ淡海 (大津市)
問合先 SSI2013 事務局 (立命館大学情報理工学部内)
SSI2013@sice.or.jp

信頼性・破壊力学合同シンポジウム—第 27 回信頼性シンポジウム/第 16 回破壊力学シンポジウム— (※)

期 日 平成 25 年 11 月 20 日 (水)~22 日 (金)
会 場 阿蘇ファームランド (阿蘇郡)
問合先 日本材料学会合同シンポジウム係
TEL [075] 761-5321, FAX [075] 761-5325

2013 年真空・表面科学合同講演会: 第 33 回表面科学学術講演会・第 54 回真空に関する連合講習会 (※)

期 日 平成 25 年 11 月 26 日 (火)~28 日 (木)
会 場 つくば国際会議場 (つくば市)
問合先 日本表面科学会事務局
TEL [03] 3812-0266, FAX [03] 3812-2897
taikail3@sss.org http://www.sssj.org

●…………… 国 際 会 議 ……………●

2014 年環境電磁工学国際シンポジウム (EMC'14/Tokyo)

1. 国際会議の概要

2014 年環境電磁工学国際シンポジウム“2014 International Symposium on Electromagnetic Compatibility” (EMC'14/Tokyo) が平成 26 年 5 月 13~16 日の日程で一橋大学一橋講堂 (学術総合センター内・東京都千代田区一ツ橋) を会場に開催されます。この環境電磁工学国際会議の第 1 回大会は 1984 年に東京において IEEE EMC Symposium として米国外で初めて開催されました。その後、電子情報通信学会の主催により 5 年ごとに開催され、今回が第 7 回目、30 周年の記念大会となります。

会議では EMC 環境電磁工学に関わる学術研究及び技術開発など、下記に示すトピックスについて発表論文の募集を行いますので皆様の御投稿をお願い致します。なお、本国際会議終了後、発表論文は“IEICE Proceedings Archives”, “IEICE Knowledge Discovery (I-Scover)”, 更に“IEEE Xplore”に掲載される予定です。

2. セッショントピックス

- (1) EMC Measurements
- (2) High Power & High Voltage EMC
- (3) EMC Management and Standards
- (4) Chip, Package, PCB & Cables
- (5) Immunity/Susceptibility, ESD and Transients
- (6) Shielding, Grounding & Materials
- (7) Numerical Modeling
- (8) EMF Safety & Biomedical Issues
- (9) Power System EMC
- (10) Power Electronics & Vehicles
- (11) Communication System EMC

3. 投稿スケジュール

平成 25 年 9 月 15 日: 原稿 (Full-length) 投稿締切
平成 25 年 11 月 30 日: 採録結果の通知
平成 26 年 1 月 31 日: 最終原稿の提出締切
※投稿締切日が 8 月 31 日から 9 月 15 日に変更されました。

4. 論文の投稿方法

論文の投稿は 4 ページの Full-length の PDF 原稿を受け付けます。申込みは HP の投稿システムからお願いします。また、原稿のフォーマットは 2 段組の IEEE Manuscript Template for Conference Proceedings に従って作成をお願いします。投稿の締切は平成 25 年 9 月 15 日です。投稿論文は全文査読のプロセスを経て平成 25 年 11 月 30 日までに採録の結果について通知します。採録が決定した論文は、平成 26 年 1 月 31 日までに最終のカマラレディ原稿の提出と会議への登録手続きが必要です。

5. 表彰

投稿された論文は EMC'14/Tokyo Awards の審査対象となります。表彰は、(1) The Risaburo Sato Award, (2) Excellent Paper Award, (3) Young Researcher Award (若手 33 歳以下の研究者), 更に、(4) IEEE EMC Society Japan and Sendai Chapters Student Award (IEEE EMC-S Japan and Sendai Chapters に所属する Student member を対象) の表彰制度があります。

6. 登録料

- (1) 事前登録 一般 47,000 円, 学生 25,000 円
- (2) 当日登録 一般 57,000 円, 学生 30,000 円

なお、登録料の詳細については HP にて御確認下さい。

7. HP・問合せ先

Website : <http://www.ieice.org/~emc14/>

E-mail : emc14-contact@mail.ieice.org

主 催 電子情報通信学会通信ソサイエティ

協 催 電気学会 A 部門電磁環境技術委員会, IEEE EMC Society, 電気・電子情報学術振興財団

協 賛 IEEE EMC-S Japan and Sendai Chapters, IEEE Tokyo Section, TPC of Asia-Pacific EMC Symposium (APEMC), International Union of Radio Science (URSI), IEC: Technical Committee on Electromagnetic Compatibility (IEC/TC77), IEC: Technical Committee on Methods for the Assessment of Electric, Magnetic, and Electromagnetic Fields Associated with Human Exposure (IEC/TC106), International Special Committee on Radio Interference (CISPR), VCCI Council, The Japan Institute of Electronics Packaging (JIEP), The Japan Society of Applied Physics (JSAP), The Society of Instrument and Control Engineers (SICE), The Institute of Electrostatics Japan (IEJ), Japanese Society for Medical and Biological Engineering (JSMBE)

後 援 総務省, 経済産業省, 文部科学省, 国土交通省(手続中)

シリコンカーバイド及び関連材料に関する国際会議 2013 (ICSCRM2013)

期 日 2013年9月29日(日)~10月4日(金)

会 場 フェニックス・シーガイア・リゾート シーガイア・コンベンションセンターサミットホール(宮崎市)

問合せ先 日本原子力研究開発機構 大島 武
TEL [027] 346-9320, FAX [027] 346-9687
ohshima.takeshi20@jaea.go.jp

Advanced Metallization Conference 2013: 23rd Asian Session (ADMETA^{Plus} 2013)

期 日 2013年10月7日(月)~10日(木)

会 場 東京大学弥生講堂・一条ホール(本郷キャンパス)(東京都文京区)

問合せ先 ADMETA 事務局 担当 吉田
TEL [03] 6801-5685, FAX [03] 6801-5686
jimukyoku@admata.org

12th International Conference on Atomically Controlled Surfaces, Interfaces and Nanostructures in conjunction with 21st International Colloquium on Scanning Probe Microscopy (ACSIN-12 & ICSPM21)

期 日 2013年11月4日(月)~8日(金)

会 場 つくば国際会議場(つくば市)

問合せ先 豊田工業大学 吉村雅満
FAX [052] 809-1851
acsin-12@dora.bk.tsukuba.ac.jp
<http://dora.bk.tsukuba.ac.jp/event/acsin12/>

2nd International Conference on Advanced Photonic Polymers (ICAPP) 2013

期 日 2013年11月14日(木), 15日(金)

会 場 慶應義塾大学日吉キャンパス(横浜市)

問合せ先 ICAPP2013 実行委員会事務局(ICS コンベンションデザイン内) icapp2013@ics-inc.co.jp
<http://www.icapp2013.com/>

Magnetics and Optics Research International Symposium (MORIS2013)

期 日 2013年12月2日(月)~5日(木)

会 場 大宮ソニックシティー(さいたま市)

問合せ先 MORIS2013 事務局
TEL [03] 5281-0106, FAX [03] 5281-0107
msj@bj.wakwak.com
<http://mst.nagaokaut.ac.jp/~moris2013/index.html>

第6回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム/第7回プラズマナノ科学技術国際会議 (IS-Plasma2014/IC-PLANTS2014)

期 日 2014年3月2日(日)~6日(木)

会 場 名城大学(名古屋市)

問合せ先 ISPlasma2014/IC-PLANTS2014 事務局(インターグループ内) 担当 鈴木
TEL [052] 581-3240, FAX [052] 581-5585
isplasma@intergroup.co.jp



——2013 年度朝日賞——

人文や自然科学など、我が国の様々な分野において傑出した業績をあげ、文化・社会の発展・向上に多大な功績をされた個人または団体に贈ります。

募集締切日 平成 25 年 8 月 31 日 (土) (所定の推薦票による)

問合先 朝日新聞社文化財団

TEL [03] 6269-9441, FAX [03] 6269-9442

jimukyoku@asahizaidan.or.jp

——平成 26 年度全国発明表彰——

本発明表彰は、我が国における発明、考案または意匠の創作者並びに発明の実施及び奨励に関し、実績のあった方々を顕彰することにより、科学技術の向上及び産業の発展に寄与することを目的としています。

表彰(1) 第 1 表彰区分

- ・恩賜発明賞 (賞状及びメダル) 最も優秀と認められる発明等の完成者に恩賜発明賞を贈呈。
- ・畠山一清賞 恩賜発明賞の受賞者に対して畠山一清賞として賞状及び発明奨励金 (200 万円) を贈呈。
- ・特別賞 (賞状、メダル及び発明奨励金) 内閣総理大臣発明賞 (100 万円)、文部科学大臣発明賞、経済産業大臣発明賞、特許庁長官賞、発明協会会長賞以上各賞 (50 万円)、日本経済団体連合会会長発明賞、日本商工会議所会頭発明賞、日本弁理士会会長賞、朝日新聞発明賞以上各賞 (30 万円)

・発明賞 (賞状及びメダル)

(2) 第 2 表彰区分

- ・21 世紀発明賞 (賞状、メダル及び発明奨励金) 著しく優秀と認められる発明の完成者に贈呈。(150 万円)
- ・21 世紀発明奨励賞 (賞状、メダル及び発明奨励金) 特に優秀と認められる発明の完成者に贈呈。(50 万円)

(3) 実施等に関する表彰

- ・発明実施功績賞 (賞状及びメダル) 第 1 表彰区分において、恩賜発明賞、特別賞を受賞する発明等が法人におけるものである場合に当該法人の代表者に贈呈。
- ・21 世紀発明貢献賞 (賞状及びメダル) 第 2 表彰区分において、21 世紀発明賞、21 世紀発明奨励賞を受賞する発明が法人におけるものである場合に当該法人の代表者に贈呈。
- ・発明実施功労賞 (賞状及びメダル) 第三者の発明、考案及び意匠を実施し、顕著な功績をあげている実施者を対象として贈呈。

(4) 発明奨励に関する表彰

- ・発明奨励功労賞 (賞状及びメダル) 発明、考案及び意匠創作の指導、育成、奨励について顕著な功績のある者を対象として贈呈。

応募方法 応募にあたっては、所定の「平成 25 年度全国発明表彰調査表」に記入の上、正 1 通、副 2 通(正の写し)の計 3 通を最寄りの発明協会各都道府県支部に提出して下さい。

応募締切日 平成 25 年 8 月 30 日 (金)

問合先 発明協会 発明奨励グループ発明奨励チーム
TEL [03] 3502-5431, FAX [03] 3502-3485
shourei@jiii.or.jp http://www.jiii.or.jp/

——NEC C & C 財団助成——

●2013 年度後期国際会議論文発表者助成

趣 旨 海外で開催される国際会議において、「C & C 技術分野」の論文発表者を対象に、その会議に出席するための渡航費用を補助するもの。C & C 技術分野とは、情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術及びこれらの技術の融合した技術分野をいう。

助成の概要 ① 助成の対象となる国際会議：
開催期日が 2013 年 11 月 1 日～2014 年 4 月 30 日で査読付きのもの

② 1 件当りの助成額：12～25 万円(開催地による)

助成の条件 ① 国際会議投稿時及び参加時に、日本の大学の博士前期並びに後期課程の在籍者 (40 才以下)。

② 国際会議 (査読付き) での論文採用が確定している方。論文採用未確定の場合は、論文採用確定を待って助成する。

③ 筆頭著者で、かつ発表者であること。

④ 応募件数は 1 名につき 1 件で、指導教官の推薦を必要とする。

⑤ 同一研究室から同一国際会議への応募は原則 1 名とする。複数名の応募の場合は、推薦者による優先順位を参考に審査する。

⑥ 経済的必要性が高いこと。

助成予定数 40 件程度

応募締切 平成 25 年 8 月 31 日 (土)

問合先 NEC C & C 財団

TEL [03] 3457-7711, FAX [03] 3798-7818

kokuron@candc.or.jp http://www.candc.or.jp/

●「外国人研究員助成」2014 年度支給候補者

趣 旨 日本国内の大学において、「C & C 技術分野」の研究を行っている外国人研究員で経済的支援の必要な方を助成するもの。学位取得に集中できる環境を整えることを趣旨とするので、助成を受け取る期間において博士後期課程に属する方を優先する。

助成の概要 ① 助成受給者一人当り月額 12 万 5 千円を 1 年間支給。

② 助成開始日は原則毎年 4 月 1 日。

③ 助成受給人数は毎年 3 名程度。

候補者資格 ① 国内の大学の大学院博士課程に在籍し、C & C 分野の研究に携わっている外国人研究員であって、指導教官の推薦を受けること。

② 研究内容が優れていること。

③ 経済的な必要性が高いこと。

④ 応募時 40 歳以下の方。

応募締切 平成 25 年 9 月 30 日 (月)

問合先 NEC C & C 財団 TEL [03] 3457-7711

FAX [03] 3798-7818 http://www.candc.or.jp/

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●明治大学

公募人員 電気電子生命学科 専任准教授または専任講師 2名

専門分野 (A)電気電子工学：電子・電気材料工学

(B)医用生体工学，生体材料学，医用システム

担当科目 (A)電子物性，電気電子系基礎科目など

(B)バイオマテリアル，生命科学，電気電子系基礎科目など

着任時期 平成26年4月1日

応募締切 平成25年8月26日(月)必着(面接予定日9月22日)

問合先 井家上哲史, ikegami@isc.meiji.ac.jp

詳細 <http://www.isc.meiji.ac.jp/~eb/>

●筑波大学

募集人員 准教授 1名

募集分野 クラウドシステムとeラーニングシステムに関わる情報工学分野

任 期 着任日から平成27年3月31日まで上記事業経費による任期付雇用。その後、運営費交付金による「任期なし」とする予定

応募締切 平成25年8月30日(金)必着

照会先 システム情報系教授 加藤和彦

kato@cs.tsukuba.ac.jp

詳細 <http://www.cs.tsukuba.ac.jp/koubo/koubo201306.pdf>

●鳥取大学

公募人員 大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻知能情報工学講座 教授 1名

専門分野 情報工学に関する分野，特に知識情報処理分野(機械学習，知覚情報処理，大規模コンテンツ分析，データマイニング，確率的情報処理など)

着任時期 平成26年1月1日(予定)

応募締切 平成25年8月30日(金)必着

問合先 知能情報工学科長 村田真樹, TEL [0857] 31-5548

murata@ike.tottori-u.ac.jp

詳細 <http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>

●神奈川大学

公募人員 理学部情報科学科 教授・准教授及び助教 1名

専門分野 インターネット応用，ソフトウェア工学など

担当科目 オブジェクト指向開発論，ウェブアプリケーション，オペレーティングシステム，実験等の基礎科目の中から数科目

着任時期 平成26年4月1日

応募締切 平成25年8月31日(土)当日消印有効

問合先 情報科学科主任 永松礼夫

lnag@kanagawa-u.ac.jp

詳細 www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/

●神奈川大学

公募人員 特別助教または特別助手(任期制) 1名

公募学科 工学部電気電子情報工学科

専門分野 電子回路工学

応募資格 助教は博士の学位，助手は修士の学位(取得見込みを含む)を有する者。または助教は博士の学位，助手は修士の学位と同等以上の研究業績を有する者

着任時期 平成26年4月1日

応募締切 平成25年9月30日(月)必着

詳細 本学HP掲載の公募要項を必ず御確認下さい

<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>

●神奈川大学

公募人員 工学部情報システム創成学科 ①教授または准教授1名，②特別助教または特別助手2名

専門分野 ①情報学基礎または情報学の応用，

②オペレーションズ・リサーチ関係分野1名，情報学基礎または情報学の応用分野1名

着任時期 平成26年4月1日

応募締切 ①平成25年9月30日(月)必着

②平成25年10月31日(木)必着

問合先 学科主任 今井崇雅, imai@kanagawa-u.ac.jp

詳細 <http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>

●近畿大学

公募人員 理工学部情報学科 講師 1名

専門分野 情報メディア

着任時期 平成26年4月1日

応募締切 平成25年8月31日(土)必着

問合先 情報学科長，教授 山本博史, yama@info.kindai.ac.jp

詳細 <http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/employment/teachers/science-and-engineering/index.html>

●近畿大学

公募人員 講師または助教 1名

専門分野 マルチメディア情報通信に関連する分野

応募締切 平成25年9月6日(金)必着

問合先 工学部情報学科 田中一基

kazumoto@hiro.kindai.ac.jp

詳細 <http://www.hiro.kindai.ac.jp/saiyo/teacher-info.html>

●大阪産業大学

公募人員 工学部電子情報通信工学科 教授若しくは准教授 1名

専門分野 デジタル信号処理，画像情報などを含む情報通信工学におけるアプリケーション層，若しくは光・マイクロ波融合技術などの通信システムに関する分野

着任時期 平成26年4月1日

応募締切 平成25年9月6日(金)当日消印有効

問合先 工学部電子情報通信工学科主任 矢来篤史

TEL [072]-875-3001, yarai@osaka-sandai.ac.jp

詳細 <http://www.eic.osaka-sandai.ac.jp/koubo/>

●立命館大学

公募人員 工学部電気電子工学科 教授または准教授1名
 専門分野 無線通信工学分野
 応募資格 ①着任までに博士の学位を有し、上記の専門分野の優れた研究業績のある方、②私立大学における教育・研究を深く理解し、強い熱意を持って取り組まれる方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年9月13日(金)必着
 問合先 工学部電気電子工学科長 今井 茂
 TEL〔077〕561-2883, imai@se.ritsume.ac.jp
 詳細 http://www.ritsume.ac.jp/job/index_j.html

●青山学院大学

公募人員 工学部電気電子工学科 助教1名
 専門分野 パワーエレクトロニクスまたは制御工学
 応募資格 博士または修士の学位を有し、学生の教育に熱意があり、キリスト教に理解のある方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年9月15日(日)必着
 問合先 教員公募委員会 米山 淳
 kobo.agu@ee.aoyama.ac.jp
 詳細 http://www.aoyama.ac.jp/recruit/detail53.html

●千葉工業大学

公募人員 工学部電気電子情報工学科 教授、准教授、または助教1名
 専門分野 電子材料・電子デバイス
 応募締切 平成25年9月16日(月)必着
 問合先 工学部電気電子情報工学科教授 室 英夫
 TEL〔047〕478-0394, hideo.muro@it-chiba.ac.jp
 詳細 研究者人材データベース JREC-IN (下記 URL) の求人情報検索で本学本学科の教授、准教授または助教の公募(電子材料・電子デバイス分野)の記事を御確認下さい http://jrecin.jst.go.jp/

●島根大学

公募人員 大学院総合理工学研究科機械・電気電子工学領域 教授または准教授1名
 専門分野 半導体デバイス関連
 応募資格 博士の学位を有し、大学院博士後期課程を担当できる方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年9月17日(火)必着
 問合先 機械・電気電子工学領域教授 梶川靖友
 TEL〔0852〕32-8903, kajikawa@riko.shimane-u.ac.jp
 詳細 http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/

●島根大学

公募人員 大学院総合理工学研究科機械・電気電子工学領域 教授または准教授1名
 専門分野 計測工学全般
 応募資格 博士の学位を有し、大学院博士後期課程を担当できる方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年9月17日(火)必着
 問合先 機械・電気電子工学領域教授 縄手雅彦
 TEL〔0852〕32-6485, nawate@ecs.shimane-u.ac.jp
 詳細 http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/

●同志社大学

公募人員 電子工学科 助教または准教授1名
 専門分野 半導体・光電子デバイス
 応募資格 着任時に博士の学位を有していること
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年9月20日(金)必着
 問合先 工学部電気系学科主任 松川真美
 TEL〔0774〕65-6292, jk-kou2@mail.doshisha.ac.jp
 詳細 http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html

●東海大学

募集人員 講師または准教授2名
 所属 工学部電気電子工学科
 専門分野 ①電気通信工学分野, 信号処理, 情報理論
 ②電気工学分野, 電力工学, 電気機器, 電力供給技術
 応募資格 博士の学位を有する方が望ましい
 着任時期 平成26年4月1日
 応募期限 平成25年9月27日(金)必着
 問合先 〒259-1292 平塚市北金目4-1-1
 東海大学工学部電気電子工学科主任 庄 善之
 TEL〔0463〕58-1211(内線4010), show@tokai-u.jp

●東北工業大学

公募人員 工学部知能エレクトロニクス学科
 (1)准教授または講師1名, (2)講師または助教1名
 専門分野 (1)知能センシング分野, (2)知能デバイス分野
 応募資格 博士号取得者, または着任までに取得見込みの方
 着任時期 原則として, 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年9月27日(金)必着
 問合先 知能エレクトロニクス学科長 本多直樹
 TEL〔022〕305-3220, n_honda@tohtech.ac.jp
 詳細 http://www.tohtech.ac.jp/corporation/recruit/index.html

●愛媛大学

公募人事 大学院理工学研究科電子情報工学専攻 助教1名(任期5年 テニユア・トラック制度)
 専門分野 計算機システム, 具体的には、「大規模集積回路やシステム LSI のための設計方法, シミュレーション, 最適化方法, 検証, テスト」, 「組込みシステム」, 「ディベンダブルコンピューティング」等の研究分野
 応募資格 博士, Ph.D の学位を有するか, 取得見込みの方
 応募締切 平成25年9月30日(月)当日消印有効
 問合先 コース長 高橋 寛, takahashi@cs.ehime-u.ac.jp
 詳細 http://www.ehime-u.ac.jp/information/employment/teacher.html

●大分工業高等専門学校

公募人員 電気電子工学科 助教または講師1名
 専門分野 電子工学, 電子物性, 量子力学, 電子デバイス, エレクトロニクスに関わる分野
 応募資格 ①高専の教育と学生指導に理解と熱意のある方, ②博士の学位を有する方(着任後1年以内の取得含む), ③専門分野担当科目に関連する研究実績を有する方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年9月30日(月)必着
 問合先 電気電子工学科学科長 高橋 徹
 tohru@oita-ct.ac.jp

●高知工業高等専門学校

公募人員 電気情報工学科 准教授, 講師, または助教 2名
 専門分野 電力システム工学または制御工学関連分野
 担当科目 エネシス工学またはデジタル制御等, 及び学生実験
 応募資格 博士の学位を有する方または着任までに取得可能な方
 学生の教育・指導に熱心で, 研究と両立可能な方
 着任時期 平成 25 年 12 月 1 日以降または平成 26 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 25 年 9 月 30 日 (月) 必着
 問合先 電気情報工学科長 谷澤俊弘
 tanizawa@ee.kochi-ct.ac.jp
 詳細 <http://www.jm.kochi-ct.ac.jp/kobo/>

●東京大学

公募人員 生産技術研究所ソシオグローバル情報工学研究センター
 准教授若しくは講師 1名
 専門分野 同研究センターにおける諸研究分野 (詳細を参照)
 応募資格 博士の学位取得直後から 10 年以内の方で, 将来テ
 ニュアに移行できるような方 (詳細を参照)
 応募締切 平成 25 年 9 月 30 日 (月) 必着
 問合先 ソシオグローバル情報工学研究センター長 佐藤洋一
 TEL [03] 5452-6278, ysato@iis.u-tokyo.ac.jp
 詳細 http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/announce/2013/koubo_130620.pdf

●東京農工大学

公募人員 教授 1名
 専門分野 コンピュータネットワーク, セキュリティ, ソフト
 ウェア工学, 自然言語処理, データマイニング, データ
 ベースなど, 計算機科学・工学, 情報工学を専門とし,
 高い研究実績と先進的・先導的研究を展開できる能力
 を有し, 本学の管理運営に積極的に御貢献頂ける方
 応募締切 平成 25 年 10 月 3 日 (木) 16:00 必着
 問合先 工学研究院 並木美太郎
 詳細 <http://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/>
 の本公募資料を御覧ください

●京都大学

公募人員 大学院工学研究科電気工学専攻システム基礎論講座
 (システム創成論分野) 教授 1名
 応募資格 博士の学位を有すること. システム工学とその関連分
 野に関する深い学識と優れた研究業績を有し, 数学・物
 理的な深い考察に基づいて異なる研究領域を横断し,
 工学の中で新たな学問分野を切り開く能力を有する方
 着任時期 採用決定後なるべく早い時期
 応募締切 平成 25 年 10 月 14 日 (月) 当日消印有効
 問合先 工学研究科電気工学専攻長 萩原正道
 詳細 <http://www.ee.t.kyoto-u.ac.jp/教員公募情報参照>

●福岡工業大学

公募人員 情報通信工学科 准教授または助教いずれか 1名
 専門分野 通信工学分野 (通信回路・方式またはアンテナ工学に
 関する分野であることが望ましい)
 着任時期 平成 26 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 25 年 12 月 6 日 (金) 必着
 問合先 情報通信工学科長 バロリレオナルド
 TEL [092] 606-4970, FAX [092] 606-0758
 barolli@fit.ac.jp
 詳細 <http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧ください。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 10 月号掲載分 平成 25 年 8 月 23 日 (金) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載して
 おります。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の
 求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開
 を開始しております。一般公開は、会員限定β版
 での公開後 2 か月を経過した一部のコンテンツが
 対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ (トップ
 ページ) → 「総合版ハンドブック「知識ベース」」
 または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



●…………… お 知 ら せ ……………●

——銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）

口座自動引落しの割引特典のお知らせ——

銀行／ゆうちょ銀行（郵便局）の口座からの会費の自動引落しを選ばれますと、次年度基本会費から、5%割引になる特典がございます。

手続きの詳細は下記の URL を御参照下さい。

—<http://www.ieice.org/jpn/service/kaihishiharai/koza.html>

なお、新規にお申込みを希望される方、また口座の変更を行う方は 10月1日までに依頼書を事務局宛にて御送付下さい。

——御登録情報の変更・確認はマイページを

御利用下さい——

<http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>

◆御利用方法

事前に、上記の URL からパスワードを取得の上御利用下さい。なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメールアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用頂ける内容

- (1) 登録情報の確認／変更について—送付先住所、会費支払方法(クレジットカードでの Web 決済、支払い方法の変更)、学生員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、満 60 歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
 - (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録
- (注) †がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事故を防ぐため、マイページのリンク先から申請書類をダウンロードの上、FAX／郵送して頂く形式をとっております。

——論文誌の冊子体の廃止について——

本会では、1999 年 8 月から論文誌の電子的公開を開始し、2006 年 4 月からは個人の会員の皆様への論文誌の配布媒体をオンライン版とし、冊子体はオプションとしております。また、2009 年 4 月からは特殊員の皆様に対し、サイトライセンスを開始してきました。これらにより、近年オンライン版での閲覧が定着し、オプションとして冊子体を希望される方は減少しております。

一方、現在、電子情報通信学会・横断システム (IEICE Knowledge Discovery (略称: I-Scover)) などの新たなシステムの構築、会員管理システム刷新、既存の論文査読／公開システムの更改などを行っており、利用者の皆様のサービス向上及びオンラインを活用した学術情報発信強化に向けた取組みを進めているところです。

少子化等により会員数が漸減していく中で、今後も引き続き学会活動を持続可能なものにしていくために、リソースの集中を図ることが必要になっております。

その一環として、論文誌の冊子体を 2014 年 4 月号から廃止することが 2013 年 4 月 15 日の理事会で決定されました。これまで冊子体に親しんでこられた会員の皆様につきましても、今後はオ

ンライン版の御活用をお願い致しますと存じます。

御不便をおかけしますが、何とぞ御理解のほどよろしく御願ひ申し上げます。

なお、論文誌の別刷は引き続き作成致します。

——I-Scover チャレンジ 2013

～I-Scover でできる こんなこと、あんなこと～——

I-Scover プロジェクト普及推進チーム

本会では、発行する論文誌や研究会などの論文を横断的な検索が可能なサイト I-Scover (IEICE Knowledge Discovery) (<http://i-scover.ieice.org/>) を公開しております。I-Scover には、本会が保持する論文等の 16 万件以上の文献から、10 万件規模の技術用語や 10 万人規模の研究者データなどが構造化され、蓄積されています。

そこで、I-Scover の普及と学会に蓄積された論文の価値を国内・国際に広く知って頂くことを目的に、このデータをファイルとして提供し、これを利活用した研究を行い発表する場として、I-Scover で構築したデータ*を利活用するアイデアやプログラム、分析・可視化などを募るコンテストを開催することとなりました。

*提供するデータは、論文本文ではなく、検索のための著者名、キーワードなどのメタデータです。

多くの皆様からの作品の御応募を期待致します。

詳細は以下を御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~iscover/>

(1) 応募作品カテゴリー

御応募頂く作品は、例えば以下のようなものを想定しております。

- ・データ分析：構造化された論文データを分析することで新たな価値を発見する。
- ・可視化：論文データ間の関係などを分かりやすく表現する。
- ・アプリケーション：スマートフォンや PC などを用いて、論文データを利活用するアプリケーションを開発する。

(2) 応募資格

- ・Linked Data や知識処理・自然言語処理に興味をお持ちの方
- ・電子情報通信の分野の動向調査等に興味をお持ちの方
- ・ビジュアライゼーションやスマートフォン開発などに興味をお持ちの方
- ・研究環境を良くしたいと考えておられる方 など

(3) 応募手続き

別途公開致します所定フォーマットに必要事項を記載頂き、応募締切日までに「提出・照会先」宛にて御提出下さい。

所定フォーマットは、コンテストの詳細を記載する上記 URL にてお知らせする予定です。

なお、提供するデータの利用に際しては、学会が提示する条件に同意頂く必要があります。

※著作権の扱いにつきましては「電子情報通信学会著作権規程」を適用します。

(4) スケジュール

エントリー受付開始 2013 年 8 月 1 日～11 月 29 日

応募締切 2014 年 1 月 8 日 (予定) (締切日は変更になる場合があります)

(5) 選考方法

本会内に I-Scover チャレンジ 2013 審査会を設け、公正な審査

を行います。審査ポイントとしてユニークさ、美しさ、面白さ、有用性、意外性、グローバル性を考慮致します。

(6) 結果発表イベント

2014年3月に選考しました作品について御発表頂く場を設ける予定です。

(7) 提出・照会先

I-Discover チャレンジ 2013 実行委員会事務局

E-mail : iscover-challenge@ieice.org

I-Discover Twitter アカウント @iscover_jp

——知的環境とセンサネットワーク (ASN)

研究会ロゴ募集について——

知的環境とセンサネットワーク (ASN) 研究会のロゴの募集を致します。

1. 趣旨

ASN 研究会は情報通信技術を他の産業と融合させ、社会基盤として発展させていくためにセンサネットワークと知的環境技術を高めつつ、他産業との複合領域の研究を推進することを目的として平成 25 年度に新たに設立された研究会です。

この知的環境とは、センサネットワークより得られたデータを処理・解析して、その人の活動を拡張・強化あるいは補完・補助する機能を指します。

研究会設立にあたり、ASN 研究会では、本研究会のロゴを公募することとなりました。ロゴは ASN 研究会の Web サイトや印刷物ほか随所で使用を予定しています。

2. 応募内容

最低限“ASN”の3文字が入っているロゴのデザイン

3. 応募・参加資格

日本在住の方であればどなたでも応募することができます。

4. 応募方法

ロゴ、及び応募者の氏名、連絡先を明記の上、メール添付にて御応募下さい。

5. 応募形式

1. JPEG (若しくは EPS) 及びそれを PDF 化したデータ形式でデザインを作成 (2 MByte 以下) し、メールに必要事項を記入の上、添付して送信して下さい。

2. メールを表題を「ASN 研ロゴ募集」として下さい。

6. 応募期間

8月15日(木)～11月15日(金)

7. 発表

12月24日(月)

平成 26 年 1 月 23 日 (木)、24 日 (金) に松山市道後温泉で開催される ASN 研究会での表彰式を予定しています。

8. 賞品

賞状及び記念品 (iPad mini 16 GByte)

9. 応募規定

1. 応募点数の制限はありませんが、一点ずつ別メールで御応募下さい。

2. 応募作品は、自作・未発表で、第三者が有する著作権等の権利を侵害しないものに限り、既存のフォントを利用した場合には、その旨をお書き添え下さい。本規定に違反していることが判明した場合には、審査結果発表後であっても賞を取り消し、賞品の返還を求めます。

3. 万が一、本ロゴ募集の応募作品に対し、第三者から権利侵

害、損害賠償等の苦情、異議申し立てがあった場合は、電子情報通信学会は一切の責任を負わず、応募者が費用負担を含めて対処するものとします。

4. 受賞作品の著作権・使用権は全て一般社団法人電子情報通信学会に帰属します。受賞作品は有償・無償を問わずホームページ、印刷物、映像、イベントなどに使用される可能性があります。受賞者には一切の権利の主張を放棄して頂きます。

5. 受賞作品は、原案を尊重しながら、修正・補正・3D 化などの加工を行う場合があります。

6. 応募作品は返却しません。

7. 応募状況、当落に関するお問合せには回答致しかねます。

10. 個人情報の取扱いについて

1. 応募作品に係る個人情報については、作品の審査・発表・表彰・応募状況の集計・公表 (統計的に処理し、個人を特定する情報は含まない) 以外の目的で使用することはありません。

2. 発表の際には、受賞者の氏名を公表します。

11. 問合せ/応募先

ASN 研究会幹事補佐

関屋大雄 (千葉大) E-mail : asn-sec@mail.ieice.org

【参考】

ASN 研究会のホームページ

<http://www.ieice.org/~asn/>

——平成 25 年 8 月号及び 9 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

8月号 [和文] 電子情報通信分野における萌芽的研究

(通信ソサイエティ)

8月号 [和文] 人や社会と共生するシステムを実現するネットワークソフトウェア

9月号 [和文] ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術論文

(エレクトロニクスソサイエティ)

9月号 [英文] Recent Development of Electro-Mechanical Devices—Papers selected from International Session on Electro-Mechanical Devices 2012 (IS-EMD 2012) and other recent research results—

(情報・システムソサイエティ)

8月号 [和文] 画像の認識・理解

8月号 [英文] Reconfigurable Systems

9月号 [和文] 画像符号化・映像メディア処理レター

9月号 [英文] Dependable Computing

●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

——回路とシステム小特集

(和文論文誌 A) 論文募集——

回路とシステム小特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の特集 (平成 26 年 8 月号) として、「回路とシステム小特集」を企画しました。電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティシステムと信号処理サブソサイエティ [委員長牧野光則, 回路とシステム研究専門委員会 (委員長山路隆文), VLSI 設計技術研究専門委員会 (委員長池田 誠), 信号処理研究専門委員会 (委員長澤田 宏), システム数理と応用研究専門委員会 (委員長中村祐一) で構成] 並びに非線形理論とその応用サブソサイエティ [委員長中島康治, 非線形問題研究専門委員会 (委員長池口 徹) で構成] は, 第二種研究会として, 平成 25 年 7 月, 回路とシステムワークショップを開催致しました。本ワークショップは, 毎年 1 回開催され, 26 回目を迎えるに至りました。本ワークショップは関連研究者, 技術者の間で定着するようになり, 多くの質の高い優秀な論文が発表され, 活発な討論が行われております。本ワークショップで発表された質の高い優秀な論文を中心として, 広く多方面から関連の最新研究成果を集積することにより, 当該分野の更なる発展に貢献することを目的としています。下記対象分野に関するオリジナルの論文を募集しますので, 奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

次に挙げる分野及びそれに関連する分野:

- ・非線形問題 (非線形回路理論, 非線形振動論, ニューロダイナミクス, 学習, カオスと分岐, フラクタル, 非線形最適化, 精度保証付き数値計算, 非線形時系列解析, 複雑系ネットワーク)
- ・回路の数値解析 (回路の数値解析理論, 回路/デバイス/配線シミュレーション, 回路/デバイス/配線モデル, シミュレーション応用最適化技術, 電磁界シミュレーション, シグナル/パワーインテグリティ解析, 電源系解析, 回路縮約, ばらつき考慮シミュレーション, 並列・分散シミュレーション, 信頼性シミュレーション (ESD, 雑音耐性, 経年劣化), 電力解析)
- ・アナログ回路 (イメージャ, センサ, MEMS, フィルタ, A-D/D-A, PLL/DLL, RF (ミクサ, VCO, LNA, PA), ミックストシグナル, 電源, 非線形回路, 高速インタフェース, 光通信回路, 無線通信回路 (WLAN, RFID, ミリ波, NFC), 無線電力伝送回路, アンプ, 低電圧・低消費電力回路, ヘルスケア, メディカルエレクトロニクス)
- ・デジタル信号処理 (基礎信号処理/フィルタ設計, 適応信号処理, 非線形信号処理, 音声・音響信号処理, 画像・映像信号処理, 通信用信号処理, システム実現技術, セキュリティ応用, 生体信号処理, 信号処理応用)
- ・VLSI 設計技術 (設計環境・ツール, 組込みシステム, リコンフィギュラブルシステム, マルチコア・メニーコア設計, NoC 設計, システムレベル設計, IP ベース設計, 動作合成・高位合成, 論理合成・検証, レイアウト設計・検証, アナログ CAD, タイミング解析, テスト設計, 低消費電力設計, 高信頼性設計, 耐雑音設計, DFM, リソグラフィ CAD)

論文特集原稿募集

- ・離散システム理論 (ソフトウェア仕様記述, 形式手法 (フォーマルメソッド), ペトリネットと離散事象システム, ハイブリッドダイナミカルシステム, グラフ・ネットワーク理論, 離散最適化, スケジューリング, アルゴリズム論, 並列・並行・分散処理, 分散協調システム, システムバイオロジー)

2. 論文の執筆と取扱い

論文の執筆要領, 査読基準は通常の投稿論文と同一とします。原則として, 論文は刷り上がり 8 ページ程度, レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理できないので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」 (http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。本小特集では, 論文スタイルから著しく逸脱したもののやページ数を超過したものは, そのことを理由に採録しないことがあります。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。採録論文数が多い場合には, 一般論文として掲載される場合があります。投稿に際しては, 著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなくてはなりません。採録された場合, 論文別刷を購入して頂くこととなりますので, あらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿要領

投稿は原則, 電子投稿とします。

- (1) 投稿論文システム https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし, 平成 25 年 10 月 18 日 (金) までに御登録・投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを投稿して下さい。その際, 投稿論文の投稿先として「回路とシステム小特集」を選択して下さい。他の特集を選択しないように御注意下さい。
- (2) 登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書に必要事項を御記入の上, 平成 25 年 10 月 25 日 (金) までに, 下記宛て送付して下さい。送付方法は, 郵送, FAX, スキャンし PDF 化したもののメール添付, のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

【送付先】

宮本俊幸
〒565-0871 吹田市山田丘 2-1
大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻
TEL [06] 6879-7694, FAX [06] 6879-7263
E-mail: miyamoto@eei.eng.osaka-u.ac.jp

4. 小特集編集委員会

委員長 宮本俊幸 (阪大)
幹事 増田士朗 (首都大東京)
委員 青森 久 (中京大), 伊藤康一 (東北大), 植野洋介 (ソニー), 加藤博武 (ルネサスエレクトロニクス), 黒崎正行 (九工大), 小中英嗣 (名城大), 佐藤高史 (京大), 田中勇樹 (群馬大), 中田 充 (山口大), ニコデムスレディアン (東工大), 日野賢一 (日本ケイデンスデザインシステムズ社), 細川晃平 (NEC), 松原 聡 (富士通), 松本剛史 (東大)

——2013 IEICE ICT フォーラム関連 EU FP7 ICT
研究開発プロジェクト活動における
次世代ブロードバンドアクセス技術と
アプリケーション関連技術小特集
(英文論文誌 B) 論文募集——

2013 IEICE ICT フォーラム関連 EU FP7 ICT 研究開発
プロジェクト活動における次世代ブロードバンドアクセ
ス技術とアプリケーション関連技術小特集編集委員会

無線アクセスサービスの進展に伴い、新たな伝送技術、システ
ム、ネットワークアーキテクチャ、更にはそれらの社会経済学的
な関わりが研究されており、それらは、容易なスケラビリティ
や信頼性の高いブロードバンドサービスといったユーザの要求の
高まりに応えるものです。このような状況下で欧州委員会 (EC)
は、「European Union's (EU's) Framework Programme」と呼
ばれる一連の研究・技術開発プログラムの第七次プログラムとし
て、ICT 関連の研究開発プロジェクトを助成するプログラム
(FP7 ICT) を立ち上げ (期間: 2007~2013 年)、欧州を中心に
日本を含む世界各国の機関が参画する多くのプロジェクトで活
発な研究開発活動がなされています。このような中、本会欧州セ
クションでは IEICE Information and Communication Technology
Forum (IEICE ICT Forum) を 2013 年に開催する計画であり、
上記 FP7 の最終年度にあたり多くの関連投稿が期待されます。

そこで本小特集 (2014 年 8 月号掲載) では、FP7 ICT 研究開
発プロジェクト活動並びに同プロジェクトに関連する技術分野で
得られた研究成果を扱った論文を広く募集します。特に IEICE
ICT Forum で発表される内容を発展させた論文を歓迎しますが、
それらに限定するものではありません。皆様の積極的な御投稿を
お願いします。

1. 対象分野

欧州連合 FP7 ICT 研究開発プロジェクト並びに同プロジェ
クトに関連する技術分野の研究成果で、特に下記の技術分野

- ・情報・通信理論及びアルゴリズム
- ・4G または 4G 以降のセルラ無線ネットワーク、連携無線
ネットワーク、コグニティブ&リコンフィギュラブル無線
ネットワーク、及びその関連技術
- ・新技術の社会経済学的側面、法整備と通信行政・政策
- ・次世代ホームアクセス技術とネットワーク (「ラスト 1 マイ
ル」としての光アクセス・無線アクセス技術の融合、伝搬モ
デル・伝搬計測、分散監視・管理技術、ソーシャルネット
ワーキング、machine-to-machine 通信)
- ・上記技術に関する性能評価、実験テストベッド及びブラッ
クホーム

2. 論文執筆の取扱い

通常の英文論文誌と同一とします。原則として刷り上がり 8
ページを標準とします (レターの投稿は受け付けておりません)。
標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御
注意下さい。詳細は Information for Authors ([http://www.
ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html)) を御覧下さい。なお、査
読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿
下さい。

手順 1 : https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx

から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論
文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も
投稿する必要があります。なお、登録時には必ず "Jour
nal/Section" で EU's FP7 ICT R & D Project Activities
on Future Broadband Technologies in Conjunction with
Main Topics of 2013 IEICE ICT Forum を選択して下さ
い。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順 2 : "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" 文書
と "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" 文
書を、論文投稿締切日である 2013 年 10 月 31 日 (木)
までに下記送付先へ電子メール添付、FAX のいずれか
の方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届か
ない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 2013 年 10 月 31 日 (木) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

太郎丸 真

福岡大学工学部電子情報工学科

TEL [092] 871-6631 (内線 6383), FAX [092] 865-6031

E-mail : taromaru@fukuoka-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 Haris Gacanin (Alcatel-Lucent Bell)

副委員長 安達文幸 (東北大)

幹事 太郎丸真 (福岡大), Mariusz Głabowski (Poznan
University of Technology), 奥村幸彦 (NTT ドコモ)

委員 阿多信吾 (阪市大), Idelfonso Tafur Monroy (Tech
nical University of Denmark), Dejan Vukobratovic
(University of Novi Sad), Tomaz Javornik (Jozef
Stefan Institute), Cedimir Stefanovic (University of
Novi Sad), Eleftherios Kofidis (University of Pi
raeus), Rodrigo Santamaria (University of Salaman
ca), Johan Bauwelinck (Gent University), Cesar
Briso (Universidad Politecnica de Madrid), Anasta
sios Zafeiropoulos (Greek Research & Technology
Network), Sabine Wittervrongel (Gent University),
Gregorio Martinez (University of Murcia), Ruben
Fuentes (University Computense de Madrid)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷
50 部含む) が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でな
ければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りでは
ありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投
稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので
御注意下さい。

——将来の光ネットワークに向けた 最新の光エレクトロニクスと通信技術特集

(英文論文誌 B, C) 論文募集——

将来の光ネットワークに向けた
最新の光エレクトロニクスと通信技術特集編集委員会

第18回光エレクトロニクスと通信国際会議 (the 18th Optoelectronics and Communications Conference (OECC 2013) が、広範囲における光エレクトロニクス分野での技術交流・討論の機会を提供する場として、Conference on Laser and Electro-Optics Pacific Rim (CLEO-PR) 及び、Photonics in Switching (PS) との3会議での共催で、平成25年7月に京都で開催されました。

OECC2013で発表された最新研究成果を体系化し、論文として投稿頂くことによって、本分野での研究開発の現状と将来展望を明らかにすること、また、光エレクトロニクスと光通信システムのより有機的な発展を図るためを目的として、本特集(平成26年7月号掲載)を電子情報通信学会英文論文誌B及びC分冊の合同で企画致します。

1. 対象分野

光通信システム、及び光デバイス技術に関する以下の分野を対象とします。

- Access Network (Category OP1)
- Core Network (Category OP2)
- Transmission Systems and Their Subsystems (Category OP3)
- Optical Fibers, Cables and Fiber Devices (Category OP4)
- Optical Switching Systems and Related Technologies (Category OP5)
- Semiconductor Active Optical Devices (Category J1)
- Optical Passive Devices and Modules (Category J2)
- Silicon Photonics Platform (Category J3)
- Optical Signal Processing, Display, Storage (Category J4)

通信システム関連の論文 (Category OP1-OP5) を B 分冊、デバイス関連 (Category J1-J4) の論文を C 分冊に掲載。

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として刷り上がり8ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (B分冊: http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html, C分冊: http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-OB] (Transactions on Communications) 若しくは [Special-OC] (Transactions on Electronics) Opto-electronics and Communications for Future Optical Network を選択して下さい。[Regular-EB] 若しくは [Regular-EC] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成25年10月31日(木) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

B分冊 (Transactions on Communications)

青木泰彦

富士通研究所ネットワークシステム研究所フォトニクス研究部
〒211-8588 川崎市中原区上小田中4-1-1

TEL [044] 754-2641, FAX [044] 754-2640

E-mail: eb-oecc2013@labs.fujitsu.com

C分冊 (Transactions on Electronics)

浜本貴一

九州大学大学院総合理工学研究院

〒816-8580 春日市春日公園6-1 D棟321室

TEL [092] 583-7604, FAX [092] 583-7898

E-mail: hamamoto@asem.kyushu-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

B分冊

委員長 尾中 寛 (富士通), 幹事 青木泰彦 (富士通研)

委員 吉本直人 (NTT), 荒木壮一郎 (NEC), 森田逸郎 (KDDI 研), 並木 周 (産総研), 植之原裕行 (東工大), 原井洋明 (NICT), 佐野明秀 (NTT)

C分冊

委員長 柏川秋彦 (古河電工), 幹事 浜本貴一 (九大)

委員 宮本智之 (東工大), 井上靖之 (NTT), 山田浩治 (NTT), 石井啓之 (NTT)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代(別刷50部含む)が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——クラウド・サービスコンピューティング特集 (和文論文誌 D) 論文募集——

クラウド・サービスコンピューティング
特集編集委員会

クラウドコンピューティングの発展により、計算資源がインターネット上に集約され大規模化しつつあります。また、このようなスケールアウトを可能とする計算環境を前提に、多くのソフトウェアや大規模データがインターネット上に集積され、スマートフォンなどのモバイル端末を介して、社会の至る所で必要なときに必要な分だけサービスとして利用されています。このようにハードウェアやソフトウェアの所有から利用へとシフトしているクラウド時代では、組織の枠を越えて、ネットワークから計算資源、データ、その上で動作するアプリケーション、そして、ビジ

ネスプロセスまで統合したサービスの構築手法が求められています。こうした期待に応えるには、ネットワークサービスや IaaS, PaaS, SaaS といったレイヤごとの構築、運用技術だけでなく、レイヤ内の水平型のサービス連携から、レイヤを横断した垂直型のサービス連携まで幅広いサービス構築技術が重要となります。

このような幅広いレイヤを横断的に議論する必要性から、サービスコンピューティング研究専門委員会では、これらの研究分野を集めた最新の研究成果を広く会員に伝えることを目的として、和文論文誌 D (平成 26 年 7 月号) にて特集を企画致します。本特集では、クラウドコンピューティングを用いたサービス構築のための基礎技術、及びそれらの応用技術までの幅広い分野からの論文を募集します。幅広い分野からの多数の方々の積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

クラウドコンピューティング

- ・クラウド (SaaS, PaaS, IaaS) の運用
- ・クラウドのパフォーマンス
- ・インタクラウド

サービスコンピューティング

- ・SOA
- ・Web サービス
- ・サービス連携
- ・サービス発見
- ・サービス選択
- ・サービス配備・運用・管理
- ・サービスのセキュリティ・プライバシー

ビジネスプロセス

- ・BPM
- ・ビジネスプロセスの検証・最適化
- ・サービスエコノミクス

クラウド・サービスの応用

- ・クラウドソーシング
- ・Web API・マッシュアップ
- ・Linked Data サービス
- ・Semantic Web サービス
- ・モバイルサービス
- ・ストリームサービス
- ・クラウドに基づく応用システム (教育, 科学, 省エネ, ヘルステックなど)

2. 論文の執筆と取扱い

通常的一般論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ以内、レターは刷り上がり 2 ページ以内とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注

意下さい。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日間) が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

投稿は、本会電子投稿システム https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx による電子投稿のみと致します。印刷物及びメールでの投稿は受け付けません。なお、上記 Web での登録の際、“ソサイエティ/特集選択”は“[特集 CS] クラウド・サービスコンピューティング特集”を選択して下さい。“[一般 JD] 情報・システム”や他の特集を選択されませんよう御注意下さい。仮登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

【送付先】

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-d1@ieice.org
※郵送時は、封筒に「クラウド・サービスコンピューティング 特集」を朱記して下さい。

4. 投稿締切日 平成 25 年 10 月 21 日 (月) 厳守

5. 特集編集委員会

委員長 村上陽平 (京大)
副委員長 石川冬樹 (NII)
幹事 田仲正弘 (NICT), 鈴木伸崇 (筑波大)
委員 井垣 宏 (阪大), 川村隆浩 (東芝), 鈴木豊太郎 (東工大), 須永 宏 (阪工大), 立堀道昭 (日本 IBM), 中村匡秀 (神戸大), Incheon Paik (会津大), 細野繁 (NEC)

6. 問合せ先

村上陽平 (京大)
TEL [075] 753-5396 E-mail : yohei@i.kyoto-u.ac.jp

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 論文採録の場合には掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- * 投稿に際して、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、受け付けませんこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 (<<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>>)